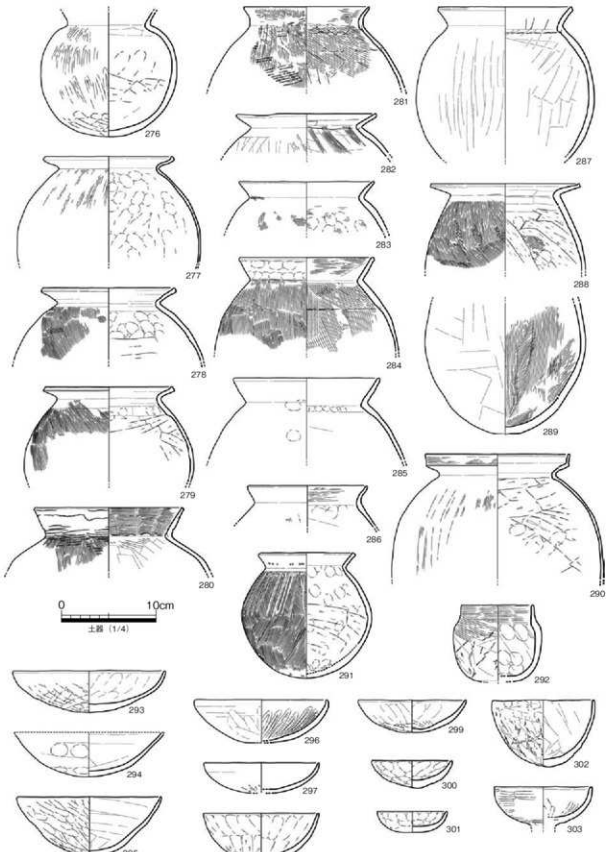
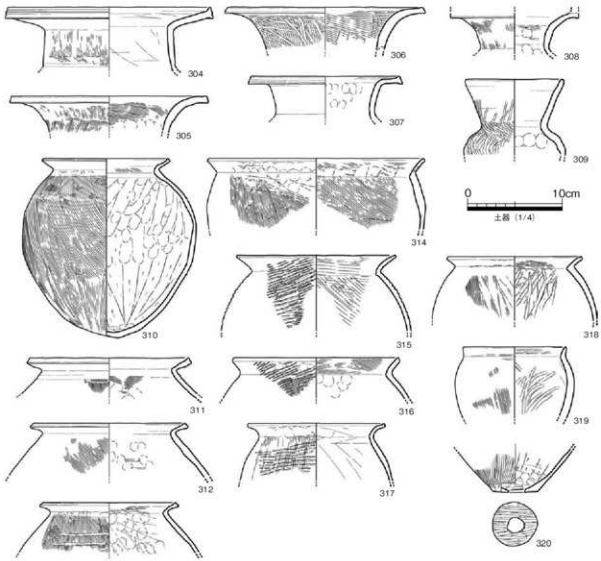



第 62 図　Ⅶ区 SR01 出土遺物実測図 3



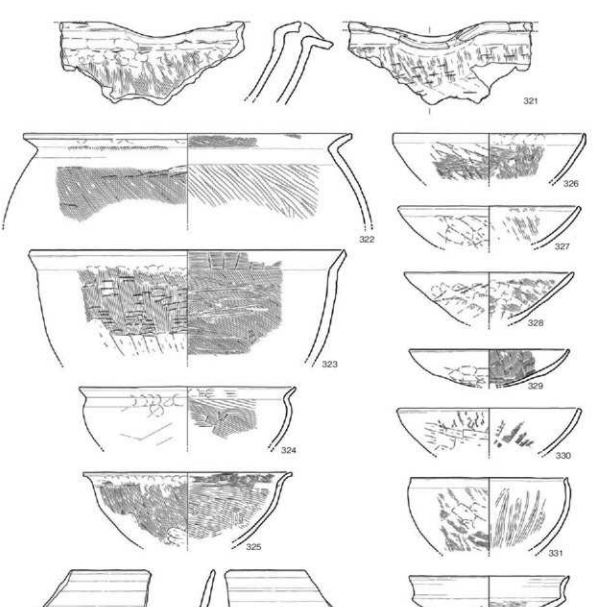

第63図　Ⅷ区 SR02 出土遺物実測図1

紀中葉までの須恵器を含むことから、その時期までに河川が一旦開析されV字断面の深い川形状が備わったものとみたい。

### Ⅷ区 SR01

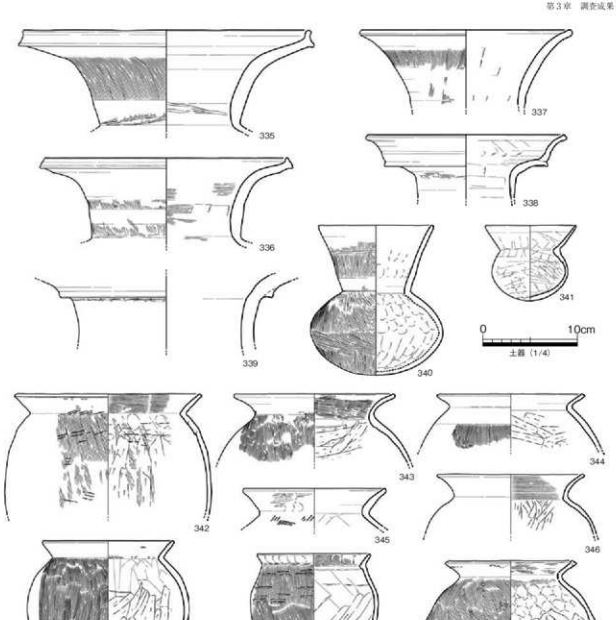
主に調査区西側を北に走行する河川である。SR02に東側上部を大きく削られ、記録上は残存範囲が狭い。SR02西側の下位付近で出土した土器もSR01として取り上げられていることから、SR02の下位にはSR01が厚く残存しているとの認識で調査が進んだものと考えるが、最終的な掘り上げ後の南壁断面ではSR02とSR01の層位関係が明確になっていないので、SR01として取り上げた遺物の正確な出土位置は不明のままである。ここでは、当初よりSR01として取り上げられた遺物を種別ごとに提示する。

245～251は弥生土器壺である。245～249は広口壺で直立気味の頸部から口縁部が斜め上方に開き端部を若干拡張して端面を窪ませる形態である。250・251は短頸壺である。250は丁寧な作風だが151は体部外面下半のヘラケズリや口縁部の仕上げなどに仕上げの粗さが目立つ。体部下半に焼成後の打ち



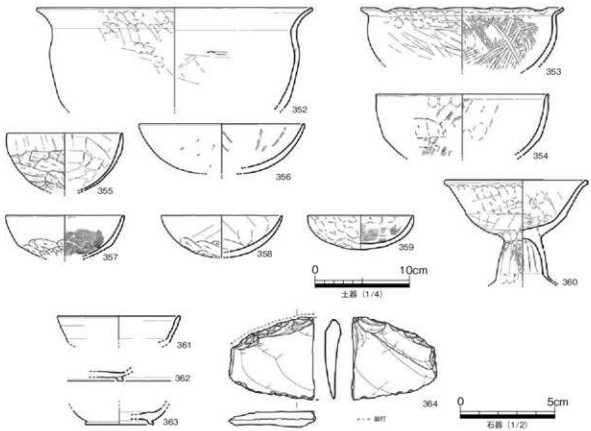

第 64 図　Ⅶ区 SR02 出土遺物実測図 2

欠きがあるのでミニチュア壺として祭祀用に使用したものかもしれない。252 ～ 266 は弥生土器甕である。252 は体部が球形で薄く口縁部が間延びするもので下川津 b 類系の新しい時期のものと考えられる。253 ～ 259 は叩き成形もしくはハケ・ナデ調整の甕である。260 ～ 266 は中・小形の甕で底部はいずれも尖り気味の丸底である。267 は口縁部が「く」の字を呈する片口の大形鉢。269 ～ 272 は口縁部が直口で浅いタイプの平底の鉢。273 は深いタイプの平底の鉢である。274 はミニチュア鉢、275 は高杯脚




第65図　Ⅶ区 SR02 出土遺物実測図3

部片である。276 ～ 303 は土師器である。276 は球形の体部を有す土師器壺。277 ～ 279 は下川津 b 類系の土師器甕で体部が球胴化する点に特徴がある。280 ～ 289 はその他の土師器甕で体部はやや縦方向に間延びする形態である。290 は吉備系甕である。291 は小形の完形甕で体部球形で上半のヘラミガキの際の口縁部に工具が当たった痕跡が残る。292 はさらに小形の甕でやや粗い作りである。293 ～ 302 は土師器鉢である。丸底で器面には亀裂が入るものが目立つ。303 は土師器高杯である。




**第 66 図　Ⅶ区 SR02 出土遺物実測図 4**

以上のⅦ区 SR01 の出土土器は SR02 を含まない土器群で弥生終末期から古墳時代前期古相までの土器を含むものであり、SR01A の単純組成としての資料である。

### Ⅶ区 SR02

中央から東側の自然河川である。前述のとおりだが、古代の須恵器が僅かながら出土している。これらはすべて機械掘削中に出土したもので、SR02 上半の大部分を重機で掘削した際に回収された須恵器である。

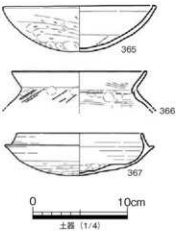
304 ～ 334 は弥生土器で、304 ～ 307 は広口壺、308 は複合口縁壺、309 は小形丸底壺である。310 ～ 320 は弥生土器甕である。310 ～ 313 が下川津 b 類系土器、314 ～ 318 が叩き成形またはハケ調整の甕である。319 は小形の甕、320 は胎土調整から下川津 b 類系土器の底部である。321 ～ 322 は弥生土器鉢である。321 ～ 325 は口縁部が「く」の字に屈曲する大形・中形の鉢である。326 ～ 330 は直口で浅いタイプの鉢である。331 は体部が球形で口縁部が短く屈曲して外上方に摘みだす鉢である。332 は大形の鉢である。333・334 は土師器高杯である。

335 ～ 360 は古墳時代の土師器である。335・336 は口縁部を拡張する広口壺、337 は口縁部を拡張しない広口壺、338 は胎土中に結晶片岩粒を含み口縁部が二重口縁となる東阿波形土器である。339 も複合口縁の大形壺で口頸部境に突帯を付す。340・341 は小形丸底土器である。342 ～ 349 は土師器甕である。球胴の土器が多く長胴のものは今のところ見られない。352 ～ 359 は土師器鉢である。352・353 は

口縁部が「く」の字に外反する鉢である。355 ～ 359 は口縁部直口の鉢。360 は高杯である。

361 ～ 363 は SR02 機械掘削の際に出土した須恵器である。8 世紀代の杯。364 はサヌカイト製のスクレイパーである。

以上の土器は SR01 と同様の時期の土器が出土しており、SR01 の堆積層が平面的にもう少し東に広がっていた可能性を示す。機械掘削で出土した須恵器は数は少ないが当該河川の所属時期を考える上で示すものである。




第 67 図　Ⅸ区 SR03 出土遺物実測図

### Ⅸ区 SR03

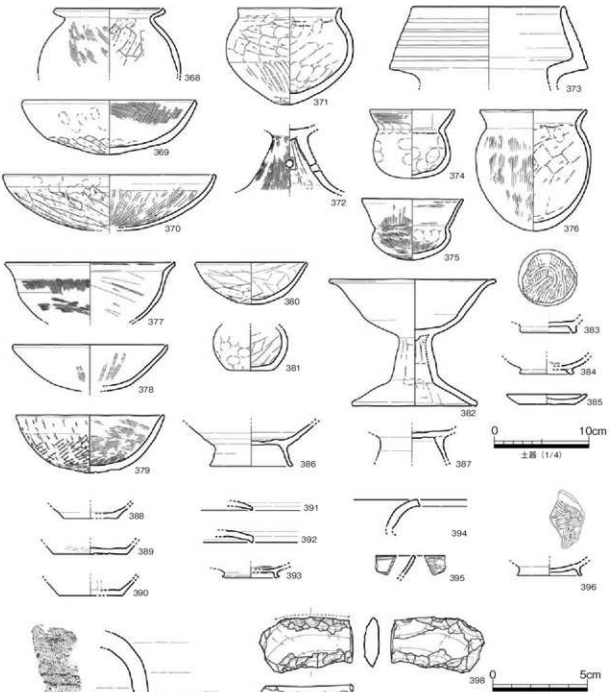
Ⅷ区で北流する SR02 が一旦東の調査区外に出るが、その後蛇行してⅨ区で再び調査範囲内に戻る。SR02 と類似した堆積層が認められることから、同一の流路と考えられる。

365 は弥生土器鉢、終末期古相であろうか、366 は土師器甕で長胴の可能性もある。367 は 6 世紀後半の須恵器杯である。

以上 SR03 には古墳時代から 11 世紀頃までの出土遺物が含まれる。

### （6）包含層出土遺物

368 は弥生土器甕、369・370 は弥生土器鉢である。丸底で口縁が直口のタイプである。371 は弥生土器の短頸壺で底部は尖り底となる。372 は高杯脚部片。373 は土師器壺、374・375 は土師器小型丸底壺、376 は土師器甕である。377 ～ 380 は土師器鉢で 381 はミニチュアの鉢である。382 は高杯である。383・384 は土師器椀、385 は土師器皿、386・387 は土師器の高台杯である。391・392 は須恵器杯蓋で 393 は須恵器椀の高台片、394 は須恵器甕口縁部、395 は和泉型瓦器の口縁部片、396 は黒色土器 A 類椀の高台片である。397 は土師質焼成の丸瓦、398 はサヌカイト製のスクレイパーである。




第 68 図　包含層出土遺物実測図

# 第４章　自然科学的分析

## 第１節　樹種同定

### （１）はじめに

香川県高松市の三谷中原遺跡から出土した木製品の樹種同定を行った。

### （２）試料と方法

試料は、Ⅶ区の自然河川であるSR01の下層から出土した木製品７点である。発掘調査所見によれば、自然河川SR01は古代頃の遺構と考えられている。各試料について、切片採取前に木取りの確認を行った。樹種同定は、材の横断面（木口）、接線断面（板目）、放射断面（柾目）について、カミソリで薄い切片を切り出し、ガムクロラールで封入して永久プレパラートを作製した。その後乾燥させ、光学顕微鏡にて検鏡および写真撮影を行なった。

### （３）結果

同定の結果、針葉樹であるモミ属とコウヤマキ、ヒノキ、アスナロの４分類群と、広葉樹であるクリ１分類群がみられた。また、材の保存が悪くて針葉樹までの同定にとどめた試料が１点みられた。ヒノキが２点であったが、それ以外の樹種はいずれも各１点であった。同定結果を第２表に示す。

| 試料番号 | 報告番号 | 管理番号 | 遺構 | 器種等 | 樹種 | 木取り | 時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 木 05 | 10 | KTMN-R0098 | Ⅶ区 SR01 下層 | 杭 | クリ | 芯去削出 | 古代 |
| 木 06 | 239 | KTMN-R0096 | Ⅶ区 SR01 下層 | 倉串 | 針葉樹 | 板目 | 古代 |
| 木 07 | 241 | KTMN-R0097 | Ⅶ区 SR01 下層 | ヘラ状木製品 | ヒノキ | 板目 | 古代 |
| 木 08 | 240 | KTMN-R0096 | Ⅶ区 SR01 下層 | 倉串 | モミ属 | 柾目 | 古代 |
| 木 09 | 244 | KTMN-R0096 | Ⅶ区 SR01 下層 | 板状木製品 | コウヤマキ | 柾目 | 古代 |
| 木 10 | 242 | KTMN-R0097 | Ⅶ区 SR01 下層 | 板状木製品 | アスナロ | 柾目 | 古代 |
| 木 11 | 243 | KTMN-R0097 | Ⅶ区 SR01 下層 | 板状木製品 | ヒノキ | 柾目 | 古代 |

第２表　出土木製品の樹種同定結果一覧

次に、同定された材の特徴を記載し、図版に光学顕微鏡写真を示す。

**1) モミ属　*Abies*　マツ科　第69図　1c(木08)**

仮道管と放射組織で構成される針葉樹であるが、材の保存状態が悪く、放射断面の切片しか採取できなかった。分野壁孔は小型のスギ型で、１分野に２～４個みられる。また、放射組織の末端壁は数珠状に肥厚する。

モミ属には高標高域に分布するシラビソ、オオシラビソ、ウラジロモミと、低標高域に分布するモミなどがあり、いずれも常緑高木である。材はやや軽軟で、切削その他の加工は容易、割裂性も大きい。

**2) コウヤマキ　*Sciadopitys verticillata* (Thunb.) Siebold et Zucc.　コウヤマキ科　第69図　2a-2c(木09)**

仮道管と放射組織で構成される針葉樹である。晩材部は厚く、早材から晩材への移行は緩やかである。放射組織は単列で、高さ１～５列となる。分野壁孔は窓状となる。

コウヤマキは温帯から暖帯にかけて隔離分布をしている１科１属１種の常緑高木の針葉樹で、日本の固有種である。材はやや軽軟、切削などは容易で、水湿に耐朽性がある。

3) ヒノキ　*Chamaecyparis obtusa* (Siebold et Zucc.) Endl.　ヒノキ科　第 69 図 3a-3c( 木 07)

仮道管と放射組織、樹脂細胞で構成される針葉樹である。晩材部は薄く、早材から晩材への移行は急である。放射組織は単列で、高さ 1 ～ 15 列である。分野壁孔はトウヒ～ヒノキ型で、1 分野に 2 個みられる。

ヒノキは福島県以南の暖温帯に分布する常緑高木の針葉樹である。材はやや軽軟で加工しやすく、強度に優れ、耐朽性が高い。

4) アスナロ　*Thujopsis dolabrata* (L.f.) Siebold et Zucc.　ヒノキ科　第 69 図 4a-4c( 木 10)

仮道管と放射組織、樹脂細胞で構成される針葉樹である。晩材部は薄く、早材から晩材への移行はやや急である。放射組織は単列で、高さ 2 ～ 13 列となる。分野壁孔は小型のヒノキ～スギ型で、1 分野に 2 ～ 4 個みられる。

アスナロは温帯に分布する常緑高木の針葉樹である。針葉樹の中では比較的軽軟で、切削等の加工は比較的容易である。また精油分が多く、耐朽性に優れている。

5) 針葉樹　Coniferous-wood　第 69 図　5a-5c( 木 06)

仮道管と放射組織、樹脂細胞で構成される針葉樹であるが、材の保存状態が悪く、放射組織の分野壁孔が消失していたため、針葉樹までの同定とした。

6) クリ　*Castanea crenata Siebold.* et Zucc.　ブナ科　第 69 図　6a-6c( 木 05)

年輪のはじめに大型の道管が 1 ～ 3 列並び、晩材部では徐々に径を減じる道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状である。道管は単穿孔を有する。放射組織は同性で、単列である。

クリは、北海道の石狩、日高地方以南の温帯から暖帯にかけての山林に分布する落葉中高木の広葉樹である。材は重硬で、耐朽性が高い。

（4）考察

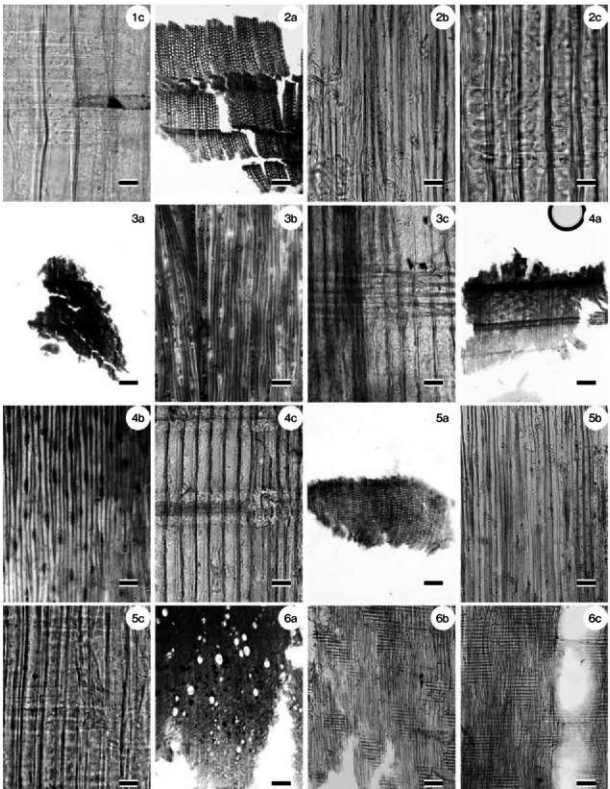
SR01 下層から出土した木製品は、斎串がモミ属と針葉樹、ヘラ状木製品がヒノキ、板状木製品がコウヤマキとヒノキ、アスナロ、杭がクリであった。モミ属とコウヤマキ、ヒノキ、アスナロを含めた針葉樹は、木理通直でまっすぐに生育し、加工性が良い樹種、クリは堅硬な樹種である（伊東ほか，2011）。

香川県で確認されている古代の斎串の多くはヒノキであるが、下川津遺跡でモミ属が 1 点確認されている。また、古代の杭では、多彩な針葉樹、広葉樹が確認されており（伊東・山田編，2012）、今回の結果は地域の傾向と一致する。

引用文献

伊東隆夫・佐野雄三・安部 久・内海泰弘・山口和穂（2011）日本有用樹木誌．238p．海青社．
伊東隆夫・山田昌久編（2012）木の考古学―出土木製品用材データベース―．449p．海青社．

分析は株式会社パレオ・ラボ 小林克也氏の協力のもとで行った。




1c. モミ属 ( 木 08)、2a-2c. コウヤマキ ( 木 09)、3a-3c. ヒノキ ( 木 07)、4a-4c. アスナロ ( 木 10)、5a-5c. 針葉樹 ( 木 06)、6a-6c. クリ ( 木 05)

a: 横断面 ( スケール =250 μm)、b: 接線断面 ( スケール =100 μm)、c: 放射断面 ( スケール =1-5:25 μm・6:100 μm)

第 69 図　出土木製品の光学顕微鏡写真

# 第５章　総　括

## 第１節　複数の調査区にまたがる遺構の整理

（１）はじめに

三谷中原遺跡は平成 13 年及び同 14 年の２ケ年にわたって発掘調査を実施した。遺跡は高松平野の南部にあって条里水田が周辺一帯に広がる田園地帯の一角だが、平野南部を東西に横断する県道三木国分寺線（県道 12 号）が古くから整備されていたことで、道路沿線には建物等も多く立地し、都市化の傾向がうかがえる環境でもあった。県道に接する調査対象地内には水田、住宅、道路、水路が混在し、すぐに調査に着手できる場所もあれば、家屋の取り壊しや電柱・水路などインフラの移転を待ってからでないと調査着手できない場所もあり、調査による掘削土の仮置場等も必要となることから、やむを得ず遺跡内を細かく分割しながら発掘調査を進めることとなった。第３章では同じ遺構と判断できる溝等の遺構でも、調査区ごとに調査当時の番号で報告し、できるだけ当時の調査資料に則して図面等を提示することで客観性の維持に努めた。しかしながら、遺構の繋がりが不明確なままでは、周辺微地形や条里地割、さらに古代南海道が想定される道路遺構との関係を考察する上では支障となる。当節では第３章で報告した出土遺物や詳細な断面記録等を踏まえ、複数の調査区にまたがる遺構について、一部推察を交えることになるが溝や河川の繋がりを重視して統一的な遺構分布状況を検討し、当該調査成果の歴史的位置づけがなされる上での前提材料を提示することとしたい。

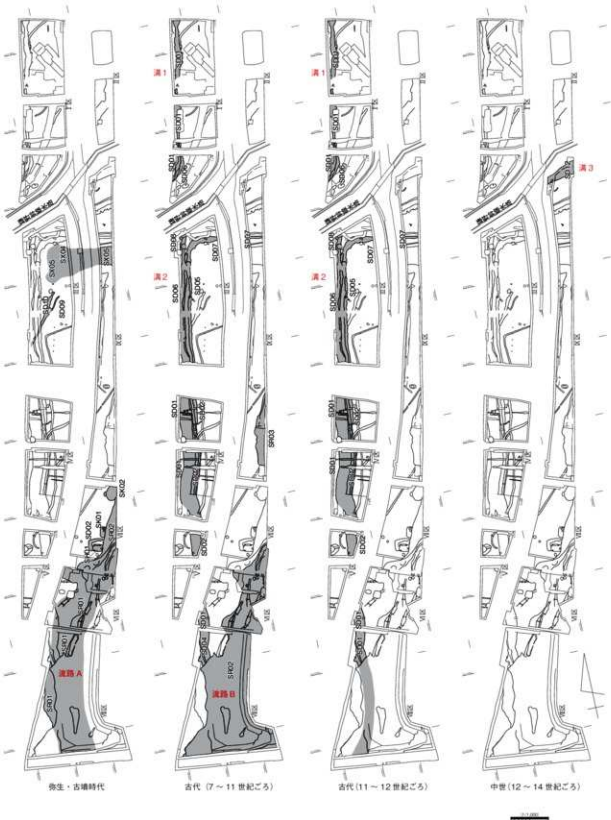
（２）概　要

三谷中原遺跡における今回の調査対象地は幅 25 ｍで南北に細長い形状である。第４図に示したように調査区中央を南北に縦断する現有市道を境にその西側を北からⅠ区・Ⅲ区・Ⅳ区・Ⅴ区とし、東側をⅡ区・Ⅸ区・Ⅶ区・Ⅵ区・Ⅷ区として各調査区を配した。そして調査区北端から約 40 ｍの位置、つまり調査区のⅠ・Ⅱ区とⅢ・Ⅸ区の間に周辺条里とは斜交する方向で大形の用水路が南西から北東方向に流れており、調査対象地はこれを横断する。この用水路は第２図に示したように南方 1km にある大規模な池である三郎池に端を発する小作川から東に分岐（堰上）し、さらにその東側に広がる更新世段丘の北側段丘崖下を沿うように北東へ流れ、由良山の南西部水田域に配水することを目的とする主要な灌漑幹線水路である（第 71 図）。現在もなお、今回の調査の契機となり新築された県道中徳三谷高松線（県道 43 号）の路面下で暗渠として維持され、三郎池土地改良区の用水系統区分による「鎌野掛り」幹線水路として使われ続けている（石上 1992）。

この水路と調査対象地が交わるこの位置は、歴史地理学の研究成果に基づく古代南海道推定線上にあり、古代から中世・近世にかけての交通・水利史を紐解く上で重要なポイントである。以下、この位置を「斜交水路」「斜交水路位置」と呼び、詳細を説明する。

（３）斜交水路より北側の遺構（Ⅰ・Ⅱ区）

斜交水路より北側では遺構面が顕著な削剥を被り、水路直ぐ北側の付近には撹乱（先行用水路か）も多く、重要なポイントではあるが残念ながら遺構の残りは極端に悪い。Ⅰ区では SD01 と SD06 の２条の溝を検出した。いずれも縦方向の条里坪境に合致して南から北へ走行する溝で、SD06 が先行しその埋没後に SD01 が掘削される。Ⅰ区は便宜上調査区を三分割して北からⅠａ→Ⅰｂ→Ⅰｃの順に小区を設けており、Ⅰａ・Ⅰｂ区で SD01 は条里方向に北進するするが、南端のⅠｃ区では溝の南端が西方へカー




第70図　三谷中原遺跡遺構変遷図

ブし調査区外に外れる。SD01 に切られ部分的に検出した SD06 も同様に走向し西へのカーブは強い円弧を描くことから、最終的には西方への直線的な溝になると予測できる。両溝はカーブする箇所で平面的にわかれているが、その他の箇所では第 40 図 SD01e ラインにみられるように上下層の関係にある。したがって基本的には同一溝と位置づけできる。また、溝底レベルは周辺地形と調和し南に高く北に低い。南端で西にカーブする部分は、後述する周辺微地形（第 71 図）を考慮すると用水は東から西に流下したと思われる。つまり屈曲部付近の溝底レベルが最も高く、北への流れと西への流れに分岐していたものと考えられた。以上を溝 1 とする（第 70 図）。溝 1 は第 40 図の 55 ～ 59 に示したように 9 世紀から 12 世紀前半までの土器が出土しており、溝が機能した時期は主に古代で、埋没した時期は 12 世紀ごろである。

なお、周辺の条里型地割を参考にして高松平野全体に施工されたと推定される条里地割一辺 109 mの理想方格線を調査区に被せると、南北の方格線が調査区中央の現有道から西に約 10 ～ 15 mずれた位置にくる。つまり SD01・SD06 検出位置がちょうど条里地割坪境線に位置することになる。

（4）斜交水路より南の溝群（Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ・Ⅸ区）

次に斜交水路より南の溝群を検討する。Ⅲ区では調査区西壁沿いに条里方向で南から北へ流れる SD05・SD06・SD08 と、その北端で東方向に分岐し強くカーブして東へ流れる SD07 の合計 4 条の溝がある。SD06 は SD05 の下層にあたり、SD08 は SD07 との分岐後もなお北に流れる溝である。SD08 は位置的には SD06 だけの継続溝のように見えるが、第 41 図の a ライン断面では SD06 埋没後も SD06 の上位に SD08 の窪みを維持したまま SD05 の埋土が覆う。したがって SD05 は東に折れてすべての流れが SD07 に接続したのではなく、SD06 と同様に SD08 方向へ北進する流れも維持していた。つまり、Ⅲ区では上下 2 層の条里溝は調査区北端でいずれも直進する溝と東に折れる溝に分岐していた。これら調査区北端付近の溝の深さは検出面から 30cm 程度と浅いが、南ほど深くⅢ区の南端では両溝はすでに検出面から深さ 60cm を越えた状態でⅣ・Ⅴ区に接続する。

Ⅳ・Ⅴ区ではⅢ区の SD05 がⅣ・Ⅴ区の SD02、Ⅲ区 SD06 がⅣ・Ⅴ区 SD01 となる。、Ⅳ・Ⅴ区の SD01 は幅広く掘削され深さも 1m を越え、一旦埋没した下層とその後の掘り直し後に埋没した上層の 2 層に分かれる（第 13・44 図）。

Ⅵ区・Ⅶ区ではⅧ区の SD01・02 がⅣ・Ⅴ区の SD02・SD01 上層、Ⅷ区の SD04 がⅣ・Ⅴ区の SD01 下層に対応する。つまり、Ⅲ区で条里の南北方向に走行する溝は上下 2 層、Ⅳ・Ⅴ区では上・中・下の 3 層に分けられる。Ⅸ区では斜交水路位置に近い北端付近に SD07 が東西に走行する。溝 2 の北端（Ⅲ区 SD07）が東に屈曲してⅨ区 SD07 につながる。この南から北へ流下し屈曲して東へ流れる溝群を溝 2 とする。

Ⅸ区 SD12 は 14 世紀ごろの土師器小皿が出土しており、溝 2 が埋没した 12 世紀以後に掘開された。隣接する斜交水路に並行して流れる規模の大きな溝である。この溝を溝 3 とする。

（5）遺構のまとめ

溝の底レベルは基本的に南から北へ傾斜しており、部分的な凹凸は特にみられないことから、溝 1 ～ 3 は灌漑用の水路の機能を持つものと考えられる。それを前提に模式的に示すと次のとおりである。

斜交水路以北

溝1　上層（Ⅰ区 SD01）　12 世紀下限

溝1　下層（Ⅰ区 SD06）

斜交水路以南

溝2　上層（Ⅲ区 SD05 －Ⅲ区 SD07 －Ⅸ区 SD07、Ⅳ・Ⅴ区 SD02、Ⅵ区 SD01、Ⅷ区 SD01）
12 世紀下限

溝2　中層（Ⅳ区 SD01 上層、Ⅷ区 SD02）　11 世紀後半下限

溝2　下層（Ⅲ区 SD06 －Ⅲ区 SD08、Ⅳ・Ⅴ区 SD01 下層、Ⅷ区 SD04）　11 世紀後半下限

斜交水路並走

溝3　　（Ⅸ区 SD12）　14 世紀下限

さて、Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ・Ⅸ区では南から北東に流下する自然河川が認められた。これは、第3章本文中でも記したが、再度まとめると次のとおりである。

流路A　（Ⅵ区 SR01・Ⅶ区 SR02・Ⅷ区 SR01・Ⅸ区 SR03）　弥生時代後期～古墳時代後期

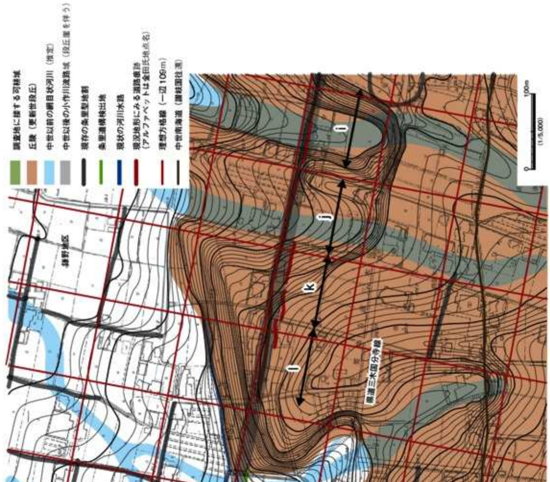
流路B　（Ⅵ区 SR03・Ⅶ区 SR01・Ⅷ区 SR02）　8 世紀～ 11 世紀

このうち、流路BはⅦ区南壁やⅧ区北壁断面に示された西肩の急角度の傾斜からみて人工的に掘削して整形したもので、その時期は流路Aの下限である古墳時代後期（6 世紀後半、367）と流路Bの埋没の上限である 8 世紀前半（361 ～ 363）の間に位置づけられる。

またⅧ区中央トレンチや南壁断面では溝2の上層及び中層の掘り方は抽出できるが、溝2下層の明確な掘り形は認められない。このことから流路Bと溝2下層が同時併存し、その後の流路B埋没後に河川埋土を切って溝2中層・上層が南から北へ掘開された。

なお、流路BのⅦ区 SR01 の断面（第 15 図及び写真図版 11）が急角度のV字形を呈し、Ⅷ区やⅥ区における流路Bの下端幅がⅥ区に至って急に狭くなり、Ⅶ区最深部付近で斎串等の木製品が出土している。これは流路Bと併存した溝2下層の関係を考える上で重要な特徴である。つまりⅦ区の調査区東隣付近に揚水のための井堰等の施設を想定すると流路Bの断面形状や滞水状態となる川底に木製品が残るという出土品の特徴が矛盾なく説明できる。つまり溝2下層は自然河川流路Bを堰き止め、約1 ～ 1.5m ほどの高低差をダムアップして分岐した溝と推定できる。

流路Bの埋没時期は埋積層の掘削により混在したと考えられる 11 世紀前半の土器（第 33 図 9）が近世土坑であるⅥ区 SK08 で出土していることから 11 世紀前半を下限とする。そして溝2の中層は 11 世紀後半（第 45 図 82）までに埋没、溝2上層も 11 世紀後半から 12 世紀までに埋没した。これは斜交水路以北の溝1の最終埋没にも合致する。




第 71 図　三谷中原遺跡周辺の微地形及び条里関連遺構等分布図

## 第2節　周辺微地形と溝の水利環境上の位置

（1）周辺微地形の検討

高松市発行の都市計画図を基に表示された田面の現標高を国土地理院のWEB版地理院地図から求め、20cm単位の等高線を作成した。この作図をもとに遺跡周辺の微地形を検討した結果は次の通りである。

調査地南東には更新世段丘が広がり、その標高は調査地より3～5m高い。段丘西側には南から北に開く開析谷があり小作川が北流する。小作川は南の大規模ため池である三郎池に端を発する河川で、川底は比高差2m以上深く開析されている。三郎池は貯水量1760千㎥、満水面積38.8ha、受益面積417haという県内有数の大規模ため池である。記録では17世紀前半の生駒藩制期に5か月ほどの工期で築造されたとされるが、旧ため池の増改築であったと考えられており（三谷郷土史編委1988）、その後も改修が重ねられ、現在は高松市香川町川東の新井堰から内場池東部幹線水路を介して香東川から取水する（香川町誌編集委1993）ことで安定した農業用水が確保され、三郎池土地改良区用水系統図によると三谷地区だけでなく林町地区や木太町地区まで広範囲に配水されている。水門（ゆる）は3本あり、中央の本ユル掛りが小作川を介して最も広範囲に配水する。県道三木国分寺線から南約100mの小作川に設置された井堰により揚水され、原掛り（8.3ha）、鎌野掛り（60.0ha）の用水系統に供され、その後は上井幹線・下井幹線として林町や木太町域を広く配水する（権藤1992）。しかしそのような広域配水は近世のため池築造及び近代における水系改良の成果がため池築造以前の用水系に重複した（石上1992）ものであり、当初の井堰による掛りは今回の調査区内の斜交水路を介し鎌野地区などに配水する水掛りと推定できる。つまり今回の調査成果と関わる用水系である。今回の調査地は段丘の崖下から小作川東岸に広がる水田域にあって、小作川の河川形態の変化と遺跡の流路・溝の分布には強い関連性があるものと考えたい。

一方で小作川西岸は平野南部で北東方向に開く香東川由来の大規模な扇状地の側縁に位置しており、緩やかな傾斜面が広がる。現在の小作川はその面を大きく開析しながら流下しており、その開析は古代末から中世初期のいわゆる完新世段丘Ⅱ面の形成による（高橋1992）。それ以前、扇状地堆積が進行している段階では、浅めの河川が網目状に繋がり、部分的な埋没や開削を繰り返しながら地形面を形成していた。今回検出した流路A・Bはまさにその河川に相当するもので、現在よりかなり浅かったと推定される旧小作川から分流した流路である。この段階では比較的容易に井堰を構築して揚水することができたはずである。

以上の微地形の状態を前提に、検出遺構の機能的側面の考察を進めたい。

（2）溝の機能推定

溝2は流路Bから導水された用水路である。流路BのⅦ区で断面V字形の部分があり、木製品等も出土するなど8世紀以前に部分的な滞水環境にあったことが予測されることからⅦ区の東側調査区外辺りに井堰が備わり、1～1.5mのダムアップすることで、溝2に導水したものと推定した。溝2は条里地割に沿って北方向に直進し、斜交水路付近の条里の東西坪堺で東に屈曲しさらに東に延びる。

流路Bから揚水された時点で遺構検出面からの深さは1m以上ある。深さのため揚水地辺りの水田への配水は困難だが、Ⅲ区中央付近に至って数十cmの深さに減じた辺りから両側への配水が行われたものと予測する。東西の坪境で東に屈曲（Ⅲ区SD07）することから、それより南にしか配水しないと

すると、溝 2 の配水面積は非常に少なく、溝や想定される井堰の構築規模とは釣り合わない。恐らく北側の溝 1 へ導水（Ⅲ区 SD08 を介して）し北側の鎌野北遺跡付近までの広範囲な配水を行った用水路と考えておきたい。つまり現用水系の鎌野掛りの西側をカバーする水源であった可能性が高い。

斜交水路の北側に位置する溝 1 は、その南端で西方向にカーブして流下する溝が付属する。溝 2 が東に屈曲する地点より北に約 13m 離れた地点である。両溝の南北軸はほぼ同じ直線上にあるにもかかわらず、東西軸は大きくずれている。このずれが歴史地理学の成果である古代南海道推定位置がちょうどこの位置にあることと深く関わっている。つまり溝 1・2 を道路側溝とする約 13 m の幅員（路床幅）の道路路線敷きが想定されるのである。そもそも道路敷きが存在しない場合は、13 m ものずれを生じさせる理由がなく、通常は一直線で揃うはずだが、あえてずらす理由としては、その幅の構造物が存在したということになる。道路敷設時期を直接示す資料は調査資料では抽出できないが、流路 B 最下層の土師器・須恵器（214 ～ 238）や斎串等の木製品（239 ～ 244）、また溝 2 下層の 8 世紀の須恵器（63 など）を参考にすると、遅くとも 8 世紀前半までには道路を設置基準とした条里施工が行われたことが推定できるので、道路敷設はそれ以前にあったものと考えておく。

（3）溝・流路埋没後の状況

流路 B は 11 世紀前半までには埋没する。ただ井堰辺り（Ⅶ区付近）が湿地化したのはもう少し早い時期かもしれない。というのは、溝 2 のうちⅧ区の SD04 からは 9 世紀後半までの土器（114 ～ 116）しか出土せず、Ⅳ・Ⅴ区 SD01 最下層では 10 世紀後半までの土器（73）しか出土しないので、それ以降で 11 世紀前半までに小作川から分岐した河川がそのまま流れこむか、あるいは別の流路を堰き止め導水した溝があるか、どちらかである。

溝 2 は新しくなるほど溝底が浅くなり、周辺への配水域を広げながら 100 m以上を北進した。それも 12 世紀頃には埋没する。埋没後に掘削されたのは溝 3 である。現存の斜交水路に並行する流路で、14 世紀ごろまで使われ埋没する。ただし改修されながら現在もなお使われる用水路であることから、段丘化により川底が低下した小作川から直接取水する現在の取水状況はその当時に生成された可能性が高い。

以後、17 世紀に三郎池が構築されることになるが、上記の鎌野掛り用水系については基本となる水路網は中世初期（12 世紀以後）から大きく変更することなく推移している。

そうすると前項で推定した道路敷遺構はどのように変化したのか。斜交水路が道路側溝として道路自体も斜交していた痕跡はみられない。近世の讃岐国往還が 350m 南を通過しており、そのルートの開始時期とも関わる可能性もあるが、現時点では材料が少ない。

## 第3節　古代南海道遺構としての位置づけ

すでに記したように今回報告する発掘調査地は、古代南海道推定線（金田 1988）が交差する場所にある。その位置は前節で言うところの斜交水路位置、つまりⅠ・Ⅱ区とⅢ・Ⅸ区の境に南西から北東方向に流れる灌漑用水路が斜交する場所で東西に横断したと推定されている。

古代南海道の考古学的な痕跡としては平成7年度に高松市教育委員会による弘福寺領讃岐国山田郡田図調査（高松市教委 1999）の一環として、当遺跡西の小作川を挟んで対岸にある扇状地面（完新世段丘Ⅱ面）の発掘調査が行われたことにはじまる。平成13年以後には当遺跡や平野西方の中間町川原遺跡（県埋文 2008）で調査が行われた。しかしこれらの遺跡では道路遺構を証明する道路の両側側溝や路床面の検出がなく、明らかな道路痕跡とするには十分なデータが揃っている訳ではなかった。今回報告した三谷中原遺跡においても、上記分析により水利的にみると東西に設けられた条里溝が坪の対角位置で13ｍの南北のずれを生じている点は、積極的にずれを生じさせる材料がないことから、道路構造物を推定したにとどまっており、また川原遺跡でも規模の大きな排水路と思われる直線的な大溝が1条見つかっただけで、道路側溝である証左は得られていない。

今回、平成7年度の高松市教育委員会による調査地を改めて現地踏査を行った。その結果、調査時から注目されている扇状地面を挟る現地形の切り通しは今なお明確に残存しており、発掘調査成果を今一度見直す必要を感じた。また同様に現地形に残る道路痕跡の可能性がある地点を再確認しておくなど、あらためて道路遺構の検出に向けた問題意識の点検を行う必要があるものと考えられた。

そこでまず現地表面に残る道路痕跡を確認し、高松市調査成果を再検討、さらに近年類例が増加した道路遺構調査例をまとめ、今後の道路遺構調査にあたっての基礎材料を提示することとしたい。

### （1）現地表面における痕跡－歴史地理学の研究成果－

歴史地理学の成果によると讃岐国を貫く南海道は高松平野主要部では完全に一本の直線であり、東端は三木町下高岡の白山（標高203ｍ）の南麓、西端は六ツ目山（317ｍ）北麓の傾斜変換点を見通したラインとして設定されたものとされている（金田 1988）。その根拠は推定地に接する部分の南北の坪長が10ｍ程度広く、道幅を取り込んで南北に接する1坪の設置がなされたと推定できることによる。余剰帯と呼ばれるその幅は今回の調査や周辺の発掘調査において検証されるべきで、後節に詳説する。ここでは直接的に道路痕跡として指摘された箇所を示しておきたい。

高松市教育委員会が実施した弘福寺領讃岐国山田郡田図調査においては特に山田郡西域（春日川以西）における詳細な現地調査が行われ、現地表に残る道路痕跡を抽出している（金田 1999）。調査後20年以上が経過しているが、現在も地形の特徴は比較的良好に残っているので、現況を含めてここに提示しておく。

a地点（34° 16'36.9"N 134° 05'10.4"E）川島本町　幅20ｍの東西に長い区画の水田（現存）

b地点（34° 16'37.7"N 134° 05'08.0"E）川島本町　低い台地上でａ地点の北ラインの延長で畦畔がある。川島中央公園と高松市立山田幼稚園との敷地境（現存）及びその西の地境（宅地化）

c地点（34° 16'38.4"N 134° 05'03.8"E）川島本町　浅い開析谷の谷頭に近い。地形にしたがって湾曲するが、ａ地点の筆の延長に畦畔あり。銀行とスーパーの間で畦畔は現存しない。

d地点（34° 16'38.9"N 134° 05'00.5"E）川島本町　宅地の3筆が東西に並び、幅が15mある（現存）。

e 地点（34° 16'39.1"N 134° 04'58.2"E）川島本町　台地の西端部分において、d の延長が幅約 20 m の切り込み状となっている（現存）。

f 地点（34° 16'39.3"N 134° 04'56.5"E）川島本町　開析谷底で、d・e の延長にあたる小径・水路がある（現存）。

g 地点（34° 16'40.3"N 134° 04'51.8"E）川島本町　一連の低い台地宅地の間に東西道があり、それに沿って南側に幅 7 m の畑列が続く（駐車場）。

h 地点（34° 16'40.6"N 134° 04'49.5"E）川島本町　同上（現存）。

i 地点（34° 16'41.4"N 134° 04'45.7"E）三谷町　f 地点に同じ（現存）。

j・k・l 地点（34° 16'42.6"N 134° 04'38.0"E）　三谷町　新田開発に伴う新しい区画。ただし、東西の道がある。その南に 15 m幅の筆（現存）。

l 地点（34° 16'43.9"N 134° 04'30.7"E）三谷町　洪積台地西端の切り通し状の窪地（今回調査地の東台地）

m 地点（34° 16'46.2"N 134° 04'16.1"E）三谷町　小作川の開析谷西岸の切り通し状の窪地（現存、高松市教育委員会発掘調査地）

n 地点（34° 16'46.6"N 134° 04'13.3"E）三谷町　南北幅 15 m の東西に長い地筆、三谷下所集会所付近（現存）

o 地点（34° 16'48.8"N 134° 03'57.0"E）三谷町　加摩羅神社の北側の東西道へ続く（駐車場）。

以上の地表遺構は、現在もなお最新の空中写真で観察しても特徴的な地割が観察できるところが多い。次に発掘調査の成果と周辺の条里型地割との関係から従来から指摘されている余剰帯の有無及びその実態について検討する。

（2）現地表面に遺存する条里型地割との関係

地下遺構と現況の条里型地割線は高松平野、丸亀平野といった代表的な平野内条里については、多くの場所で一致しており（丹羽・山本 1992、森下 1997）、現況の条里型地割が古代の条里地割遺構を大部分が反映したものとの認識は適切であろう。

今回の調査地周辺においても、その点を確認するために第 71 図に示したように条里型地割坪境線、発掘調査による条里遺構、一辺 109 m の理想方格線を重ね合わせ、その整合具合を確認した。発掘調査成果のうち、ポイントとなる地点は次の 5 地点である。

①地点　鎌野西遺跡の坪境溝

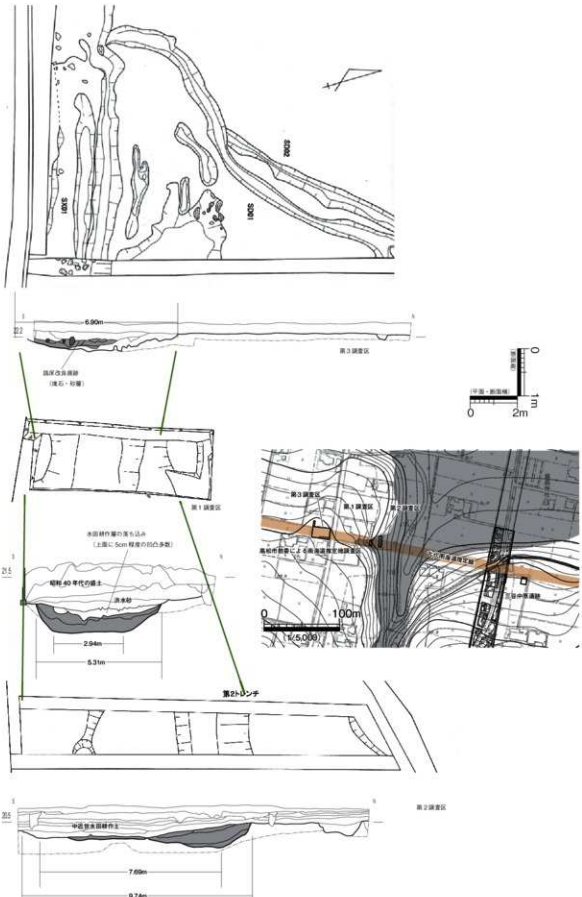
②地点　Ⅰ区 SD01・06

③地点　Ⅲ・Ⅸ区 SD07

④地点　Ⅷ区 SR02 から SD04 への取水点

このうち、①～②を理想 109 m方格に合わせると、③・④が南に 10 ～ 15 mずれる。周辺の条里型地割も①～②は東西方向の坪境線と理想方格が合致するが、③以南は 10 ～ 15 m の範囲で一様に南にずれる。つまり、②と③の間で方格の初期設定が元々ずれていること示している。そのずれ幅がいわゆる余剰帯である。同様の理想方格を使った余剰帯の検出は川原遺跡でも行われている。

この余剰帯が古代南海道の幅員に対応し、あらかじめ存在した道路部分を取り込んで条里地割が施工されたことを示す。つまり条里施工前にすでに古代南海道は竣工していたことと、直線の道路を基準と




第 72 図　高松市調査南海道推定地調査区の概要

してその南北に条里地割が具体的に測設され施工されたということを示しており、発掘調査成果においても、歴史地理学のこれまでの研究成果を反映するように地下遺構を評価することができる。

このようにみると、①②間、つまり両溝を側溝として古代南海道が存在したことが示されたようにみえるが、道路遺構自体を検出できている訳ではないので、考古学的には情報としては不十分である。そこで今回調査地の西で行われた高松市教育委員会の調査成果を確認してみたい。

（3）高松市教育委員会南海道推定地調査地点の調査成果

第 72 図に示したように、当該三谷中原遺跡の調査地から西に約 200 mの地点で発掘調査が行われた。調査は平成 7 年度と平成 8 年度の弘福寺領讃岐国田図調査の一環で行われ、7 年度は第 1・2 調査区が、8 年度は第 3 調査区の調査が行われた。

調査地点は前節の m 地点である。小作川西岸に広がる扇状地面の段丘崖の一部に条里方向で幅 9 ～ 15 mの開析谷のような窪みが約 20m 貫入して緩やかなスロープを形成するもので、金田氏はこれを「切り通し状の遺構」と指摘している（香川県史）。

第 1 調査区（1 トレンチ）から調査データを確認してみる。南北長 8m ×東西幅 2 mのトレンチを切り通しの最も段差が顕著な箇所で配置している。断面ではさらに上部 80cm が近年の盛土なので、切り通しの深さはさらに深い。

盛土直下には耕作土が残り、その下位には洪水砂がレンズ状に堆積する。その下位にはさらに水田耕土層がレンズ状に残存する。その層の下面で平坦な削剥された地山面と上面幅 5.31 m、深さ 0.6m の掘割状の遺構が検出された。遺構内には花崗岩風化土が崩落して砂礫化した土壌が流入していた。讃岐平野に特徴的な扇状地堆積の中で丘陵や台地に近い箇所ではこのように淘汰の悪い土砂が供給されて地盤を形成しており、そのような地盤を掘削した遺構では初期の埋没層にこのような淘汰の悪い土砂が流入する。いわゆる地山に近い土、だが調査時にはあくまで二次的に移動を受けた埋積土（洪水性堆積層）と判断されている。掘割状遺構の底面は平坦で水流により削剥を被った痕跡はないので、掘削初期に埋積したものと解釈できる。底面の幅は断面位置で 2.94 mである。流入土からの出土遺物はなかった。

第 2 調査区（2 トレンチ）もほぼ同様の堆積状況である。中世・近世の水田層を除去すると、削平された地山面及び検出幅 9.74 m、深さ 0.5 mの掘割状遺構が検出された。遺構内には洪水性で淘汰の悪い花崗岩風化土壌が流入する。底面はほぼ平坦で底面の幅は 7.69 mである。

この 2 か所の調査区では切通しを反映する底面が平坦な断面逆台形の掘割状遺構が検出された。底面には削剥劣化の痕跡がないにもかかわらず、人為的に底面を固めるなどのいわゆる路面補強等の道路遺構にしばしばみられるような補強工の痕跡もない。したがって報告書ではこれを道路跡とすれば路床は掘割遺構底面の地山面が該当し、構築初期に洪水性堆積物で路床が覆われたと解釈されているが、淘汰の悪い埋積物から想像すると、洪水性ではなく人為的な埋積の可能性もかんがえられよう。

第 3 調査区は段丘上面の平坦面にあたり、地山削剥面において検出幅 6.9 mの窪みが検出された。窪み内には人頭大の礫が多数含まれ、人為的に投入された地盤補強工の一つと解釈されている。古代末までの土器等が出土している。

調査の結果、第 1・2 調査区では段丘下から段丘上へ向かう緩やかな登坂道に伴って切通しを形成した掘割状遺構が確認された。遺構は各所とも削剥された地山面で検出されたもので、遺構の上半はすでに失われており、その下半部は洪水等で初期に埋積したが、現在はすでに削剥された上半では路面補強

等で道路を維持したと想定された。一方で段丘上の第3調査区では削剥前の段丘面を想定すると、深い切り通しではなく僅かに段を付けて掘り下げる程度の道路幅であったものと考えられる。検出された窪み遺構は塊石等を集めて補強する地盤工事の痕跡である。削剥を考慮すると幅員は7m以上となる。

ただ、各所とも側溝などの道であることを明確に示す材料は見つかっていない。この状況は今回の三谷中原遺跡における道の推定と同じく、推論を前提とした遺構解釈である。そこで県内外の他の事例を紐解き、道路地盤の類例を十分に検討し、当該地域の道路施工における特性を抽出することにより、改めて当該道路関係遺構の位置づけを考えてみたい。

（4）県内の道路遺構検出事例と道路遺構の類型化

これまでに県内で検出した道路の可能性がある遺構を集め、本県の地形的条件を踏まえてその特徴を確認する。考古学的な道路遺構の工法による分類は、官道を対象とした近江氏の分類によると盛土工法とオープンカット工法がある（近江 2006）。側溝を持つものは主に盛土工法による構築を行い、前項のように路盤補強を持つものは概ねオープンカット工法によるものと思われる。具体的な構造として盛土工法は道の両側縁に周辺水利に供する水路を兼ねた側溝や溝底が一定せず灌漑施設とは考え難い溝や土坑を有し、その間を盛土することにより道路路盤を構築する一群である。県内では調査例の多く（ほぼすべて）が削剥環境にあるため、盛土自体が残存する例はないが、水利溝を除く不定形あるいは溝底が一定しない溝や土坑は主に盛土の土壌の確保と道路用地境の明示を目的に掘開された溝・土坑と解釈すれば、2条並走する溝群の多くがこれに該当し、事例は大きく増える。

一方オープンカット工法は、前項のように幅が広く深さが浅い掘割状の溝で底面が平坦で路床に板状圧痕や礫敷などの補強工の痕跡が確認できるものがある。この工法は一見してわかる丘陵や台地状の地形で検出すれば衆目が認める遺構であるが、平地部で検出した場合、溝底、つまり低位な箇所にわざわざ切り通しを設けて道路を構築するはずがないという見方も根強い。しかし、そのような遺構の微地形を検討すると弥生時代前期末から中期において扇状地が段丘（完新世段丘Ⅰ面）化した後の段丘面であることが多い。周辺の都市化や平坦化のためにわかりにくいが、台地状地形の上を開削した切通し状の遺構といえる場合が多い。もちろん埋土の特徴や溝底の傾斜状況から用水機能がある溝なのかどうかも十分に点検することも必要である。

以下県内事例を紹介するが、工法を類型化して説明する。オープンカット、側溝や路盤補強等の工法は必ずしも一つのみで構成するのではなく、複数の工法が混じって施工される。まず側溝型の溝は直線で連続するが溝底のレベルや道路と反対側の平面形が不安定な形状を呈し水利溝としては使えない形状の溝（側溝a型）と明らかに周辺農地の灌漑用の水路と兼用している溝（側溝b型）がある。路盤補強は板状圧痕型と礫敷型に区分する。板状圧痕型は路線に直交する細長い楕円形土坑の連続形を典型とするがそれ以外にも円形土坑がやや間隔をあけて連続するものなどを含む。礫敷型は路床に礫や土器片等を敷き詰めそれを路面とするかあるいは路盤の補強として利用するものである。路面の場合は礫・土器砕片、路盤の場合は大型の礫の場合がある。

以下、県内例を説明する。

坪井遺跡（東かがわ市）

県東部の大内平野西端の北側北岸の遺跡である。古代南海道推定線上に合致し、周辺条里型地割の坪

境線付近の幅 20 ～ 25 m 範囲に溝底の傾斜が安定せず、途中で途切れたり、部分的に深くなっていたりする溝が多数重複して検出されている。このうち SD37 と SD58 は約 10 m の間隔を置いた同規模の溝

第 73 図　坪井遺跡（東かがわ市）道路遺構分布図

第 74 図　川原遺跡（高松市）道路遺構分布図

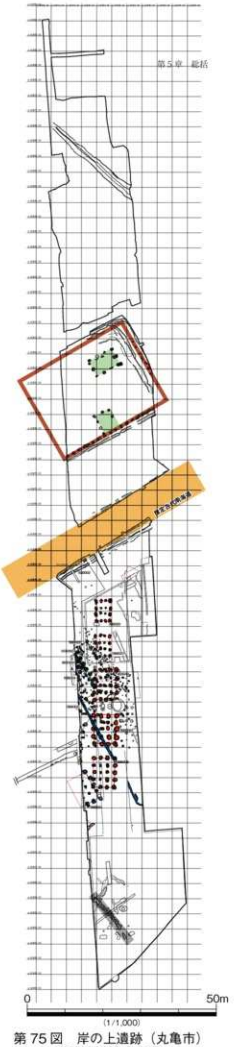
で部分的に深くなるなど溝底が安定しない。両溝埋土中より「印」線刻の須恵器が出土し接合したことで、同時期に同一契機で埋没した溝と判明した。同様の溝間距離を有して関連する2条の溝のセットは、SD36とSD60、SD73とSR06、SD72とSR113のセットなどが抽出できる。これらはいずれも溝が途切れたり、溝底が不定形であるなど用水溝とは考えられない形状を呈す（側溝a型）。調査報告書では道路との関係については全く触れられていないが、上記の情報に基づき幅9～10mの道路が調査区内を横断し、道路に面して建物が配置される状況が復元されている（香埋調 2002b）。

川原遺跡（高松市中間町）

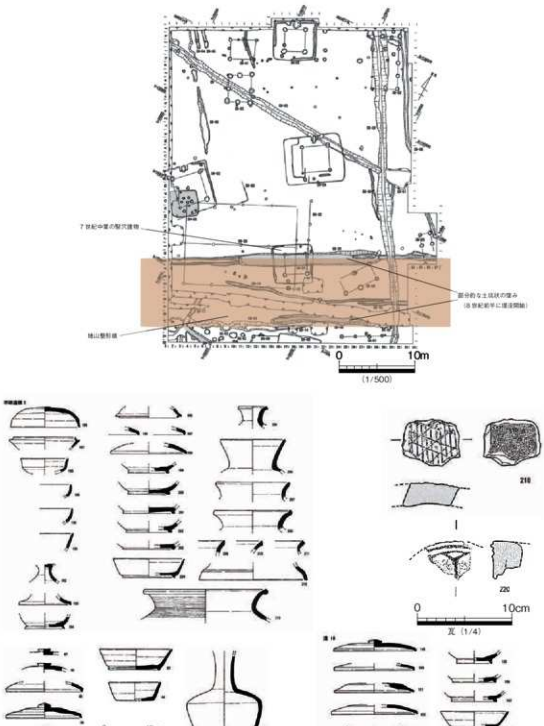
高松平野西端の古代南海道推定線上にのる遺跡である。推定線はしばしば現道や水路と重複するため撹乱等で遺構が残存しないことが多いが、この場所は現道や水路が推定線からずれた位置にあり、推定線は旧水田地を通ることから、撹乱等を免れて道路遺構が良好な状態で検出されることを期待された。調査では対象場所においては側溝の可能性がある大規模な用排水路が検出された（側溝b型）が、溝はその1本のみで、削剥環境にあるために道路との関係を示す堆積土層も失われており、道路側溝として使われたかどうか、不明のままであった。一方で12世紀頃にその直線溝が埋まった後、北西から東南にカーブしながら調査区東端付近で直線溝北側に収束すると思われる幅約5mの中小溝群が検出されている。これらの溝群は上部に浅い砂の堆積が認められ西から東への流水で埋没したと思われるが、それに切られてシルト質で埋積するSD03・04等の溝が一定間隔をもって並走する。これが12世紀から14世紀ごろまでの遺構の道路側溝の可能性が考えられている（蔵本・森下 2009）。

岸の上遺跡（丸亀市飯山町）

丸亀平野東端で古代南海道推定線上にのる遺跡である（県埋文 2018）。現市道を挟んで両側で溝を検出しており溝間は約12mある。溝底は比較的平滑だが、部分的に窪みがあるなど用水溝としての用途は難しい形状である。加えて南北に隣接して大形建物等の施設が整然と配置されていることが分かっており郡衙関連遺構と推定されている（県埋文 2018）。そのような遺構環境からもこれらの溝は灌漑用水路とは考え難く、道路側溝とみるのが妥当である（側溝a型）。削剥環境にあるため盛土の形状は不明だが、




第75図　岸の上遺跡（丸亀市）
道路遺構等分布図




第 76 図　四国学院大学構内遺跡道路遺構分布図

埋土中には大小の礫が流入することから、路面または路盤内に礫を使用した路床を形成していた可能性が高い。

四国学院大学構内遺跡（善通寺市）

丸亀平野西端で古代南海道推定線上に位置する遺跡である（善通寺市教委 2003）。古墳時代終末期の

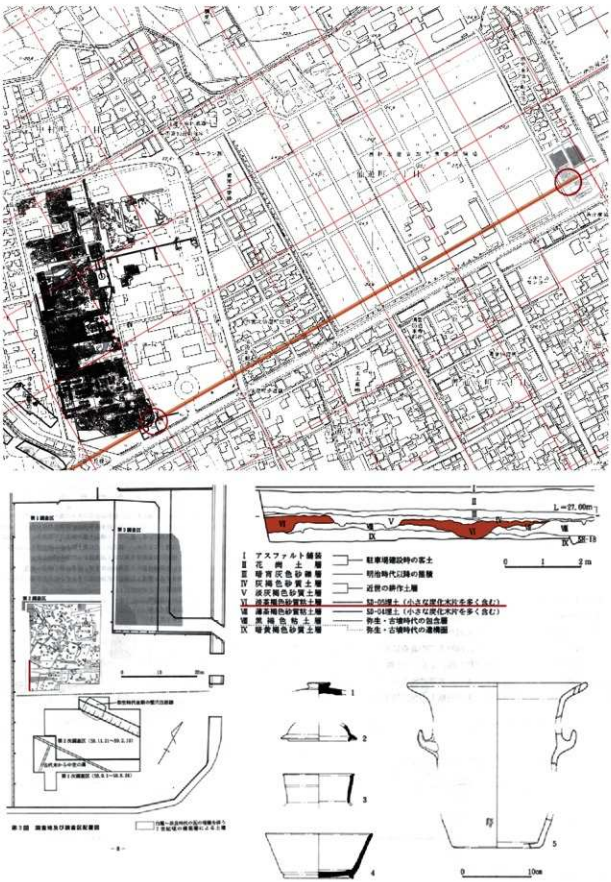
竪穴建物等遺構を切り込んで、条里地割に沿って間隔約９ｍで並走する２条の溝である。溝は小口部が急に立ち上がって終わる土坑状を呈しており、灌漑用水路とは考えられない側溝ａ型である。報告書では側溝の掘削時期を７世紀後半とし、埋没時期を８世紀前半とする。

多肥北原西遺跡・太田原高州遺跡（高松市多肥上町）

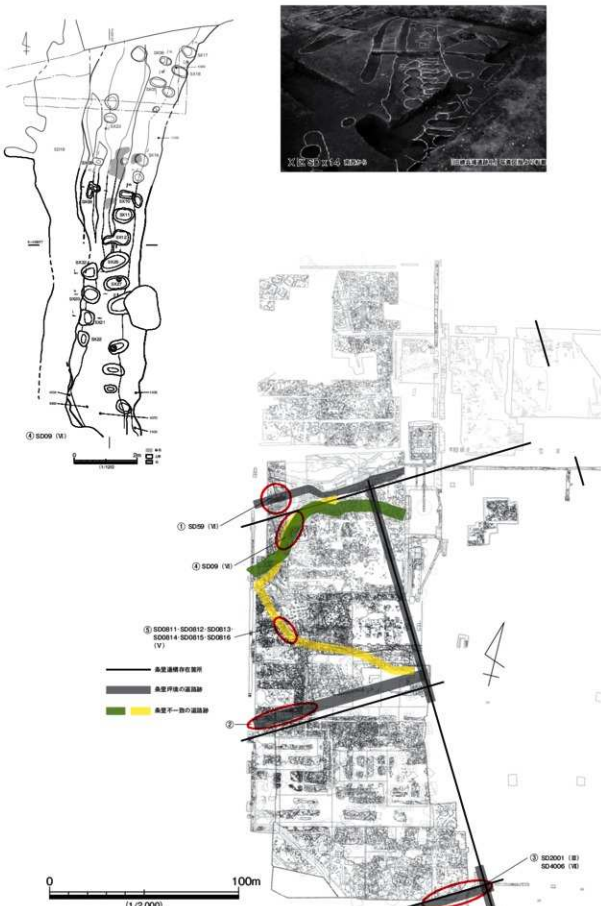
高松平野中央部扇状地面上の削剥環境にある遺跡である（県埋文 2015a・2017）。条里坪境線上で東西方向に延びる間隔約６ｍで並走する３～４組の溝を断続的ながら延長約 1k ｍ分検出している。８世紀から10世紀前葉まで存続する。溝底面のレベルは地形に応じて高低し、特定の方向の配排水を目的とする形状ではない。また継続的な流水痕跡を認めるものもないので、どれも道路側溝として機能しうる（側溝ａ型）。道路に面して、多肥廃寺やほかの大形建物が配される。多肥廃寺のやや西側に交差点があり南道路と称する幅員９ｍの道路もあり、調査者は南海道と高松城跡付近に想定される古代の津とを結ぶ幹線道の可能性が指摘されており、過去の太田下・須川遺跡で検出されていた溝を改めて道路側溝と位置づけこの道路の延長の遺構としている。合わせて、当該南道路の12町東の松縄下所遺跡では間隔約 3m で条里坪境に沿って南北方向に並走する２条の溝があり、道路側溝の可能性が指摘されている。このように南北方向の道路も確認され、条里地割に沿って南海道以外にも直線道路が多数存在したことが明らかである。

旧練兵場遺跡・仲村廃寺跡（善通寺市）

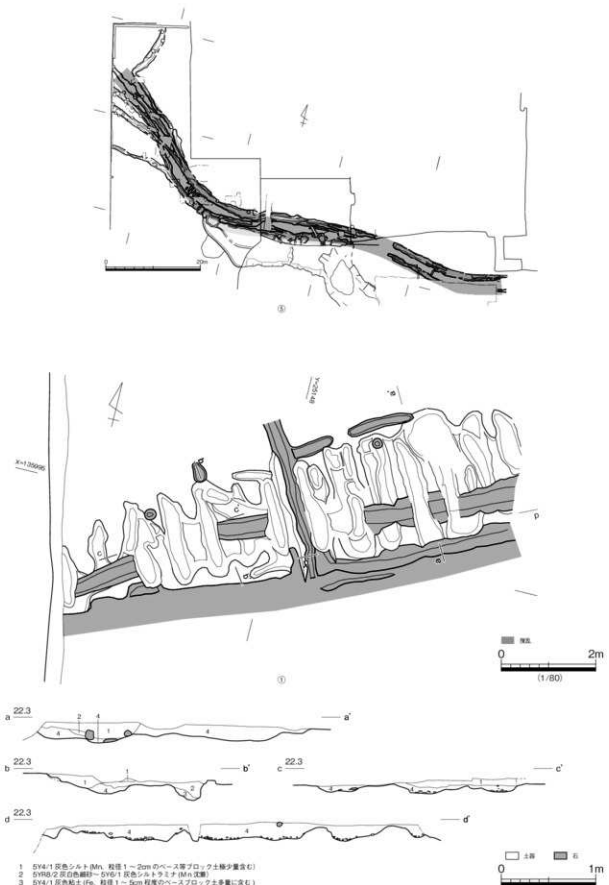
丸亀平野西端の善通寺周辺に広がる扇状地上の遺跡である（県埋文 2015b・2016）。近年大規模に発掘調査が進み、弥生中期前半までの自然河川や後背地が網目状またはパッチ状に分布することが分かってきた。弥生時代中期後半以降は乾燥が進み段丘化する（完新世段丘Ⅰ面）。段丘面には丸亀平野全体に施工された30度西偏する方格地割に伴う坪境の遺構が良好に残存する。流水痕跡のある灌漑用の用排水路は数少なく主に古代末から中世に使われたもので、それ以前は溝底が安定せず凹凸のある灌漑用水路とは考えられない溝状遺構が圧倒的に多い。幅２～３ｍの間隔を有して並走する道路遺構と推定できる。条里に沿うもの（①～③）と条里に沿わないもの（④・⑤）がある。前者は古代南海道推定線から北へ五～七町の東西坪境線である。①では幅員２～３ｍの側溝ａ型の間に波板圧痕型の路盤補強を施すものである。②は幅員２～３ｍの側溝ａ型だが深い中世埋没の条里溝の両側縁に残存する古代の溝であり、周辺遺構面より深い位置で検出している。このことからオープンカットされた路床側縁に側溝ａ型を設置した可能性が高いといえる。③は幅４ｍほどのオープンカットの底面に礫敷きを施して路面を形成する礫敷型である。30 ｍ続いて条里の縦横坪境の交点において北に屈曲し、検出面においては東に続かない。中世初期ごろのオープンカットの路面を検出している。細かな礫や土器砕片が２層にわたって敷き詰められた状況は路面が補修維持された痕跡とみておきたい。これ自体が暗渠排水機能を有し、堀込地業を有した道路の可能性もあるがそうであれば、礫敷の丁寧さと北側への上昇面において礫敷面も緩やかに上昇している点で、地面下に没する暗渠部にしては丁寧すぎるので、現段階で路面が残る事例とみる。④は幅３ｍほどのオープンカット底面に板状圧痕型の路盤補強痕跡が延長約 40 ｍにわたって続く。⑤は幅２～３ｍの間隔をもつ側溝ａ型が90m 以上続く。なお、③の東方六町に所在する仲村廃寺遺跡（善通寺市教委 1989）では③検出の道路遺構と同じ東西坪境線上で側溝ａ型を伴う幅員約４ｍの道路遺構を報告書より見出し得る。



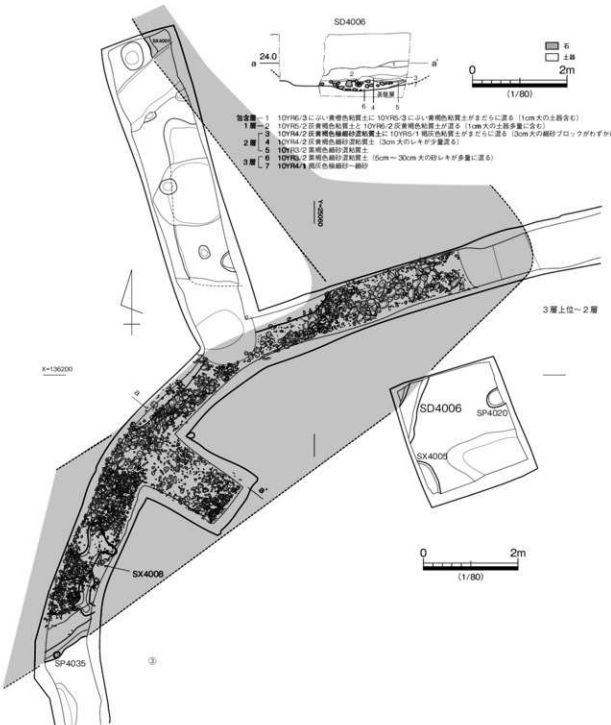

第 77 図　仲村廃寺跡道路遺構分布図




第78図　旧練兵場遺跡道路遺構分布図（1）




第 79 図　旧練兵場遺跡道路遺構分布図（2）




第80図　旧練兵場遺跡道路遺構分布図（3）

第 81 図　東坂元三の池遺跡（丸亀市）道路遺構分布図

東坂元三の池遺跡（丸亀市飯山町）

丸亀平野東端の飯野山から東方に細く張り出す丘陵を南北に横断する道路である（県埋文 2008b）。切通しは形成せず、周辺の地形傾斜に応じて地盤面に路床補強痕跡及び側溝等が重層的に残存する。最下面には SD23・45 と SD47 を側溝とする幅員約 6m の道路がある。9 世紀後半から 10 世紀前半の土器が出土し存続期間を示す。側溝とする根拠はいずれの溝も深さが一定ではなく SD47 は平面的にも道路側は直線的だが対側縁は非常に不定形であることや緩やかにカーブする微妙な形状が両側溝で連動する等の特徴である（側溝 a 型）。その上層には北側に波板状圧痕 1・3 群、南側に SK01・03 と SD04 に挟まれる幅員約 3.5m の路面が想定できる。10 世紀前半埋没。どれも長さ 3 ～ 4m の長楕円形の土坑もしくは両端が急に浅く終わる。後出する SK02 や波板状圧痕 2 群などは 10 世紀後半に至る遺物が出土しており、重層的にやや位置をずらしながら道路が維持された状況が復元できる。なお、南に近接して同時期の建物群が分布する。11 世紀に至ると道路部分が埋積した後に建物が建てられ、道は東に移動したものと考えられる。なお、建物方位は条里に沿わないが、10 世紀代の道路はややカーブしながらも北から 30 度西に振る条里方向をほぼ維持しており、このことから集落に属す私的な道ではなく、条里に沿って大束川中流域と下流域をつなぐ幹道に設置された公的な道路という位置づけが適当であろう。

以上の道路痕跡のうち、路面をとどめるものは旧練兵場遺跡のオープンカット工法のものを除くとほとんどみられない。旧練兵場遺跡例も機能停止後に砂で埋没するなど最終段階では溝として埋没したものが多い。このようなことから道路幅員も必ずしも明確ではないが、側溝を路側と考えれば、道路幅は 2 ～ 13 mのばらつきがあるなかで、歴史地理学で指摘された古代南海道推定線上で検出された箇所では概ね 9 m以上の幅員を有するという共通性があった。それ以外の場所での大きな幅員は 6 mで、2 ～ 3 mが普通サイズの幅員とまとめられる。

## 第 4 節　まとめ

当遺跡の調査地内を歴史地理学の調査成果による古代南海道推定線が横断することから、該当箇所の調査成果を中心とした検出遺構及びそれに関連する周辺微地形と水利状況を総括した。その結果、遅くとも 8 世紀代には調査区内を北東方向に流下する自然流路（流路 B）から取水されていたことが推定される条里坪境の南北水路（溝 1・2）が開削されていた。また東西方向の坪境付近では南北溝から西方向と東方向にそれぞれ派生する 2 条の用水路が別個に掘開されており、その間隔が約 13 m ある。これらの水路は付近を流れる小作川の旧河川底の下刻作用が顕著となる古代末～中世初期の段丘化作用以前の網目状に流れていたと推定される旧小作川の一流路から小単位で取水されるような用水機能をもつ水路で、古代以前から続く灌漑システムが条里施工にあわせて直線的な水路に付け替えられた結果である。その結果として東西方向の水路位置が縦坪境を境に西側と東側で 13 m のずれがみられるのは、その間隙に構造物が存在したことを示しており、それを条里余剰帯として位置付け、条里地割施工の基準となった遺構の存在を示すと仮定すれば、歴史地理学における官道研究や周辺の発掘調査成果における方格地割の研究状況とも矛盾しない。

県内の道路遺構調査例を検討したところ、近年増加した古代南海道推定地の調査例ではいずれも 9m 程度の幅員を有すことで共通することが判明した。それ以外の位置にある道路跡の幅員は 3 ～ 6 m の範囲にあるので、これを道路としての格の違いと読み替えることができる。つまり一般的な道路とは異なり、規模や規格性を備えた官道としての特性が明らかになってきつつあるといえる。もちろん、路床が残存して明確に道路であることを示す材料は十分には得られていない現状に変化はないが、当遺跡調査後 15 年以上経過した今、不確実ながらも道路跡調査資料を蓄積することで、考古学的にも古代の官道にアプローチできる材料が増加してきているといえる。

ところで当遺跡では、条里に沿った水路は古代のあいだは流路の埋没により取水源の変更が行われても水路位置は基本的に継続していた。しかし中世初期の 12 世紀ごろを境に条里地割に沿ったそのような用水路が一斉に埋没する。後継の灌漑水路はちょうど古代南海道推定線の位置で重複して検出された北東方向に流下する大形の溝（Ⅸ区 SD12）で、現在もそれに並行して大形水路（斜交水路）がある。この大形水路は先述のように南方の大規模ため池である「三郎池」掛りの幹線水路であり、水路の初現が 12 世紀頃までさかのぼる可能性が考えられる点は重要である。中世初期の急速に進行した段丘化により新たに灌漑システムを構築せざるを得ない環境に移行し、その時のシステムが後世のため池築造や大規模幹線水路による香東川からの取水といった近代灌漑施設の築造を経て、なお現在の灌漑システムの基層で維持されている。古代南海道推定線の位置にそのような幹線水路が斜交するのであるから、今回の調査から類推すると中世以後は別の場所に道路が移動した可能性が考えられる。南方 200 m を東西方向で直線的に走向する近世の讃岐往還道への転換の契機といえるかもしれない。

引き続き、平野内の古代南海道推定線等において発掘資料が蓄積されることで交通遺構の実態が判明できることを期待したい。

## 参考文献


石上英一　1992「弘福寺領山田郡田図の史料学的分析」『讃岐国弘福寺領の調査』高松市教育委員会
近江俊秀　2006『古代国家と道路―考古学からの検証』　青木書店
堀上 実　1983「南河内の瓦器碗」『古文化論叢 』藤沢一夫先生古稀記念論集刊行会
香川県埋蔵文化財センター　2004a　『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第 53 冊 中森遺跡 林・坊城遺跡Ⅱ東山崎・水田遺跡Ⅱ』
香川県埋蔵文化財センター　2004『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第 49 冊 八幡遺跡 正箱遺跡 中間東井坪遺跡』
香川県埋蔵文化財センター　2006　『県道高松志度線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 小山・南谷遺跡２』香川県教育委員会
香川県埋蔵文化財センター　2008a『県道円座香南線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第２冊 本郷遺跡・川原遺跡』香川県教育委員会
香川県埋蔵文化財センター　2008b『国道 438 号道路改築事業（飯山工区）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第２冊　東坂元三ノ池遺跡』
香川県埋蔵文化財センター　2015a『県道太田上町志度線道路改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告多肥北原西遺跡』
香川県埋蔵文化財センター　2015b『旧練兵場遺跡Ⅴ』
香川県埋蔵文化財センター　2016a『旧練兵場遺跡Ⅵ』
香川県埋蔵文化財センター　2016b『旧練兵場遺跡Ⅶ』
香川県埋蔵文化財センター　2017『県道太田上町志度線道路改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 太田原高州遺跡２』
香川県埋蔵文化財センター　2018『香川県埋蔵文化財センター年報 平成 28 年度』
香川県埋蔵文化財調査センター　1995『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第３冊前田東・中村遺跡』
香川県埋蔵文化財調査センター　1996『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第１冊 空港跡地遺跡Ⅰ』
香川県埋蔵文化財調査センター　2001『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第 37 冊中岡西井坪遺跡Ⅲ』
香川県埋蔵文化財調査センター　2002a『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第５冊 空港跡地遺跡Ⅴ』
香川県埋蔵文化財調査センター　2002b『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第 40 冊　坪井遺跡』
香川町誌編集委員会編　1993『香川町誌』香川町
川村教一　1998『香川県高松平野の第四紀後期テフラ』『香川県高等学校教育研究会理化部会・生地部会会誌』34 号
金田章裕　1985『条里と村落の歴史地理学研究』大明堂
金田章裕　1988『条里と村落生活』『香川県史　１　原始・古代』　四国新聞社
金田章裕　1992『高松平野の条里と弘福寺領讃岐国山田郡田図』『讃岐国弘福寺領の調査』高松市教育委員会
金田章裕　1999『高松平野における条里地割の形成』『讃岐国弘福寺領の調査Ⅱ』高松市教育委員会
蔵本 晋司　2016『第２節 香川県内出土の有舌（茎）尖頭器について』香川県埋蔵文化財センター編『県道高松長尾大内線道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　十川東・平田遺跡』香川県教育委員会
蔵本晋司・森下英治　2009『古代南海道推定地における近世遺構をめぐって』『香川県埋蔵文化財センター研究紀要５』香川県埋蔵文化財センター
権藤典明　1992『高松平野の水利慣行』『讃岐国弘福寺領の調査』高松市教育委員会
善通寺市教育委員会　1989『旧練兵場遺跡における埋蔵文化財確認調査報告書 仲村廃寺』
善通寺市教育委員会　2003『四国学院大学構内遺跡発掘調査報告書』
高橋 学　1992『高松平野の地形環境』『讃岐国弘福寺領の調査』高松市教育委員会
高松市教育委員会　1992『讃岐国弘福寺領の調査　弘福寺領讃岐国山田郡田図調査報告書』高松市教育委員会
高松市教育委員会　1999『讃岐国弘福寺領の調査Ⅱ　弘福寺領讃岐国山田郡田図調査報告書』高松市教育委員会
丹羽佑一・山本英之　1990『高松平野の発掘調査で検出された溝状遺構と推定条里地割との関係』『讃岐国弘福寺領の調査Ⅱ』高松市教育委員会
浜田 重人　1996『高松市木太町大池遺跡採集の有舌尖頭器』『香川考古』第２号香川考古刊行会
三谷郷土史編集委員会編　1988『三谷郷土史』三谷郷土史編集委員会
森隆　1990『西日本の黒色土器生産（上）』『考古学研究 第 37 巻第２号』　考古学研究会
森隆　1990『西日本の黒色土器生産（中）』『考古学研究 第 37 巻第３号』　考古学研究会
森隆　1991『西日本の黒色土器生産（下）』『考古学研究 第 37 巻第４号』　考古学研究会
森下英治・森澤千尋　2001『高松平野における後期旧石器時代の遺跡二例』『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要９』　財団法人香川県埋蔵文化財調査センター

## 第３表　三谷中原遺跡出土土器観察表

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | 法量 (cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | |
| 1 | Ⅶ区 | SH01 | P3 | 土師器 | 甕 | ﾅﾃﾞ・刷毛目 | ﾅﾃﾞ・指押え | 7.5YR6/6 橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 中・並 | 中・並 | 細・少 | - | - | (13.8) | - | - | - | 1/8 | |
| 2 | Ⅶ区 | SH01 | P5 | 土師器 | 甕 | ﾅﾃﾞ・刷毛目 | ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 7.5YR6/6 橙 | 細・少 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1/8 | 外：黒斑 |
| 3 | Ⅶ区 | SH01 | | 土師器 | 鉢 | 磨滅・指押え | 磨滅 | 5YR7/6 橙 | 2.5YR6/8 橙 | 中・多 | 中・少 | - | - | - | (19.8) | - | - | - | 2/8 | |
| 4 | Ⅶ区 | SH01 | | 土師器 | 鉢 | ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | ﾅﾃﾞ | 7.5YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | (14.4) | - | - | - | 2/8 | |
| 5 | Ⅶ区 | SH01 | P1 | 土師器 | 高杯 | ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 指押え・ﾅﾃﾞ・ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 5YR6/8 橙 | 5YR6/8 橙 | 中・並 | 中・少 | - | 細・並 | - | 17.2 | - | - | - | 6/8 | |
| 7 | Ⅶ区 | SK08 | ②<br>最下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 2.5Y8/1 灰白 | 2.5Y8/1 灰白 | - | - | - | - | 無 | (12.8) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 8 | Ⅶ区 | SK08 | ②<br>最下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 7.5Y7/1 灰白 | 5Y7/1 灰白 | - | - | - | - | 少 | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 9 | Ⅶ区 | SK08 | ①<br>②層中に含まれる 青灰色微砂 | 黒色土器 B | 椀 | 回転ﾅﾃﾞ | ﾍﾗﾐｶﾞｷ | N2/ 黒 | N2/ 黒 | - | - | - | - | 少 | - | - | (7.7) | - | 2/8 | B 類 |
| 11 | Ⅶ区 | SK02 | P10 | 弥生土器 | 壺 | 横ﾅﾃﾞ・ﾅﾃﾞ・ﾍﾗﾐｶﾞｷ・指押え | 横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ・指押え | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 7.5YR3/3 暗褐 | 粗・少 | 細・多 | 細・少 | 細・多 | - | 15.0 | 24.0 | (5.4) | 胴部径 24.5 | 6/8 | 外：黒斑 |
| 12 | Ⅶ区 | SK02 | P9 | 弥生土器 | 壺 | 指押え後横ﾅﾃﾞ・刷毛目・ﾅﾃﾞ | 磨滅・指押え後ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 7.5YR4/1 褐灰 | 中・多 | - | - | - | - | (15.0) | 25.2 | 4.8 | 胴部径 20.0 | 8/8 | 外：黒斑 |
| 13 | Ⅶ区 | SK02 | P30 | 弥生土器 | 壺 | 磨滅 | ﾅﾃﾞ・指押え | 7.5YR5/4 にぶい褐 | 5Y2/1 黒 | 中・多 | 中・多 | 細・並 | 細・多 | - | - | - | - | - | 2/8 | |
| 14 | Ⅶ区 | SK02 | P11 | 弥生土器 | 壺 | 磨滅・刷毛目 | 磨滅・指押え | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・並 | - | - | - | - | (7.2) | (13.0) | 4.2 | 胴部径 12.4 | 8/8 | 外：黒斑 |
| 15 | Ⅶ区 | SK02 | P8 | 弥生土器 | 壺 | 磨滅・刷毛目・ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 磨滅・指押え・刷毛目 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・並 | - | - | - | - | (12.8) | (25.4) | 4.9 | 胴部径 19.4 | 4/8 | 外：黒斑 |
| 16 | Ⅶ区 | SK02 | P25 | 弥生土器 | 壺 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目・ﾅﾃﾞ | ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 7.5YR5/3 にぶい褐 | 中・多 | - | - | - | - | - | - | 4.7 | 胴部径 20.9 | 8/8 | 外：黒斑、焼成後穿孔 |
| 17 | Ⅶ区 | SK02 | P21 | 弥生土器 | 壺 | 磨滅・刷毛目 | ﾅﾃﾞ・指押え | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 10YR8/2 灰白 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | - | - | 5.7 | - | 8/8 | |
| 18 | Ⅶ区 | SK02 | | 弥生土器 | 壺 | 磨滅・刷毛目 | 磨滅・刷毛目・指押え | 2.5Y8/3 淡黄 | 2.5Y8/3 淡黄 | 中・並 | 中・少 | - | - | - | - | - | (7.8) | - | 2/8 | |
| 19 | Ⅶ区 | SK02 | P38 | 弥生土器 | 壺 | 磨滅・叩き後ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 磨滅・板ﾅﾃﾞ後ﾅﾃﾞ | 10YR8/4 浅黄橙 | 10YR5/1 褐灰 | 中・多 | 細・並 | - | 細・少 | - | - | - | (9.2) | - | 3/8 | |
| 20 | Ⅶ区 | SK02 | P14 | 弥生土器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・叩き目・ﾍﾗﾐｶﾞｷ・指押え・ﾅﾃﾞ | 横ﾅﾃﾞ・指押え・ﾍﾗ削り | 10YR5/2 灰黄褐 | 2.5Y6/2 灰黄 | 細・少 | 中・少 | 細・少 | 細・少 | - | 13.6 | 26.9 | (6.0) | 胴部径 (21.1) | 6/8 | |
| 21 | Ⅶ区 | SK02 | P26 | 弥生土器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目・刷毛後ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 横ﾅﾃﾞ・指押え・ﾍﾗ削り | 10YR4/3 にぶい黄褐 | 10YR6/4 にぶい黄橙 | 中・多 | 細・多 | - | 細・多 | - | (14.6) | - | - | 胴部径 (23.7) | 3/8 | |
| 22 | Ⅶ区 | SK02 | P40 | 弥生土器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 磨滅・刷毛目・指ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 10YR5/4 にぶい黄褐 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 細・並 | 細・並 | - | 細・多 | - | (13.9) | - | - | - | 3/8 | |
| 23 | Ⅶ区 | SK02 | P5 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅 | 磨滅・指押え・ﾍﾗ削り | 10YR6/4 にぶい黄橙 | 10YR6/2 灰黄褐 | 中・並 | 細・並 | 細・並 | 中・少 | - | (12.8) | - | - | - | 2/8 | 外：黒斑 |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | 法量(cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | |
| 24 | Ⅶ区 | SK02 | P6 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅 | 磨滅・指ナデ | 10YR6/4 にぶい黄橙 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 粗・多 | 中・並 | - | 細・多 | - | (14.9) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 25 | Ⅶ区 | SK02 | P21 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅 | 磨滅・指押え | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 中・並 | 細・少 | 細・少 | 細・少 | - | (13.6) | - | - | - | 1/8 | |
| 26 | Ⅶ区 | SK02 | P21 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅・横ナデ・刷毛目 | 磨滅・指押え・ヘラ削り | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・多 | - | - | - | - | (15.8) | - | - | 胴部径(22.6) | 2/8 | |
| 27 | Ⅶ区 | SK02 | P22 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・板ナデ・磨滅 | 磨滅・ヘラ削り | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・多 | - | - | - | - | (15.6) | - | - | - | 1/8 | 26と同一個体の可能性 |
| 28 | Ⅶ区 | SK02 | P7 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅・横ナデ・刷毛目 | 磨滅・ヘラ削り | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 10YR8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | (16.4) | - | - | - | 2/8 | 26と同一個体の可能性 |
| 29 | Ⅶ区 | SK02 | P20 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅・横ナデ | 横ナデ・ヘラ削り | 2.5Y7/1 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 粗・多 | 中・並 | - | - | - | (14.6) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 30 | Ⅶ区 | SK02 | P13 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅・指押え後ヘラ削り | 磨滅・刷毛目 | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・多 | - | - | - | - | 13.4 | - | - | - | 5/8 | |
| 31 | Ⅶ区 | SK02 | P24 | 弥生土器 | 甕 | 指押え後横ナデ・刷毛目・磨滅 | 指押え後横ナデ・ヘラ削り | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・多 | - | - | - | - | (12.4) | - | - | - | 1/8 | |
| 32 | Ⅶ区 | SK02 | P19 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・叩き後刷毛目 | 横ナデ・ヘラ削り | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・多 | - | - | - | - | (17.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 33 | Ⅶ区 | SK02 | P41 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅・指押え・横ナデ・叩き目 | 磨滅・指押え・刷毛目 | 2.5Y7/2 灰黄 | 10YR7/4 にぶい黄橙 | 中・並 | - | - | - | - | (17.4) | - | - | 胴部径(18.7) | 3/8 | |
| 34 | Ⅶ区 | SK02 | P29 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅・叩き目 | 磨滅・指ナデ | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 35 | Ⅶ区 | SK02 | P22 | 弥生土器 | 甕 | 叩き後ナデ・叩き後刷毛目 | 刷毛目 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR8/2 灰白 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | 13.8 | - | - | - | 8/8 | |
| 36 | Ⅶ区 | SK02 | P24 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅・横ナデ・刷毛目 | 磨滅・横ナデ・指押え・ヘラ削り | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | (13.4) | - | - | - | 2/8 | |
| 37 | Ⅶ区 | SK02 | P46 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅・刷毛目 | 磨滅・刷毛目 | 10YR8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 細・多 | 中・並 | - | - | - | (18.0) | - | - | - | 1/8 | 34と同一個体の可能性 |
| 38 | Ⅶ区 | SK02 | P32 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅 | 横ナデ・刷毛目・板ナデ | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y7/2 灰黄 | 中・多 | - | - | 細・少 | - | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 39 | Ⅶ区 | SK02 | P21 | 弥生土器 | 甕 | 刷毛目 | ヘラ削り・指押え | 2.5Y8/2 灰白 | 5YR6/8 橙 | 粗・多 | 細・少 | - | 細・少 | - | - | - | 4.6 | - | 8/8 | 底面刷毛目、外:黒斑 |
| 40 | Ⅶ区 | SK02 | P22 | 弥生土器 | 甕 | 刷毛目 | ヘラ削り後刷毛目・指押え後ナデ | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・並 | - | - | - | - | - | - | 5.1 | 胴部径18.0 | 7/8 | 外:黒斑、底部焼成後穿孔 |
| 41 | Ⅶ区 | SK02 | P27 | 弥生土器 | 甕 | 刷毛目・ヘラミガキ・指押え | ヘラ削り・指押え | 7.5YR5/4 にぶい褐 | 2.5Y3/1 黒褐 | 細・多 | 細・少 | 細・少 | 細・多 | - | - | - | 4.7 | - | 8/8 | 底面ヘラミガキ、外:黒斑 |
| 42 | Ⅶ区 | SK02 | P17 | 弥生土器 | 甕 | 叩き後刷毛目 | 刷毛目・指ナデ | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・並 | - | - | - | - | - | - | 4.3 | - | 7/8 | 外:黒斑 |
| 43 | Ⅶ区 | SK02 | P6 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅 | 磨滅 | 10YR4/2 灰黄褐 | 2.5Y4/1 黄灰 | 中・多 | 中・少 | 細・少 | 細・多 | - | - | - | (5.7) | - | 3/8 | |
| 44 | Ⅶ区 | SK02 | P24 | 弥生土器 | 甕 | 刷毛目・ヘラミガキ | ヘラ削り・指押え | 2.5Y8/2 灰白 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・並 | - | - | - | - | - | - | 4.6 | 胴部径(18.0) | 3/8 | |
| 45 | Ⅶ区 | SK02 | P4 | 弥生土器 | 甕 | 叩き目・磨滅・ヘラミガキ | 指押え・ヘラ削り | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 10YR8/1 灰白 | 粗・多 | 中・多 | - | 細・少 | 中・多 | - | - | 4.3 | 胴部径15.0 | 8/8 | 砂粒はチャート |
| 46 | Ⅶ区 | SK02 | P3 | 弥生土器 | 鉢 | 磨滅・刷毛目 | 磨滅・指押え・刷毛目 | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 中・並 | - | - | - | - | (20.4) | - | - | - | 1/8 | 外:黒斑 |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | | 法量 (cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | | |
| 47 | Ⅶ区 | SK02 | P21 | 弥生土器 | 鉢 | 磨滅・刷毛目 | 剥離・磨滅 | 10YR8/3 浅黄橙 | 10YR8/2 灰白 | 粗・多 | 細・並 | - | - | - | (20.0) | - | - | - | 2/8 | 外：黒斑 |
| 48 | Ⅶ区 | SK02 | P5 | 弥生土器 | 鉢 | ﾅﾃﾞ・磨滅・指押え・指押え後ﾅﾃﾞ | 磨滅・指押え | 10YR6/2 灰黄褐 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・多 | - | - | - | - | (11.9) | (7.4) | 3.6 | - | 8/8 | 外：黒斑 |
| 49 | Ⅶ区 | SK02 | P21 | 弥生土器 | 鉢 | 磨滅・刷毛目・ﾅﾃﾞ | 刷毛目・磨滅 | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | - | - | 4 | - | 8/8 | 外：黒斑 |
| 50 | Ⅶ区 | SK02 | P22 | 弥生土器 | 鉢 | 指押え・ﾅﾃﾞ | 磨滅・指押え・ﾍﾗ削り・ﾅﾃﾞ | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | - | - | - | - | 8/8 | 把手付鉢 |
| 51 | Ⅶ区 | SK02 | P39 | 弥生土器 | 高杯 | ﾅﾃﾞ・指押え | 磨滅・ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り・横ﾅﾃﾞ | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 10YR8/2 灰白 | 中・少 | 粗・多 | - | - | - | (14.6) | - | 11.0 | - | 4/8 | 図上復元、外：黒斑 |
| 52 | Ⅶ区 | SK02 | P48 | 弥生土器 | 高杯 | 横ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り後ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 横ﾅﾃﾞ・ﾍﾗﾐｶﾞｷ・ﾍﾗ削り | 10YR7/4 にぶい黄橙 | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 中・少 | 粗・多 | 細・多 | 細・少 | - | 23.5 | 19.3 | 20.1 | - | 7/8 | 穿孔：上段3ヵ所、下段3ヵ所 |
| 53 | Ⅶ区 | SK02 | P43 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅・指押え後横ﾅﾃﾞ・刷毛目・ﾅﾃﾞ | 磨滅・ﾍﾗ削り・指押え | 7.5YR7/3 にぶい橙 | 7.5YR8/4 浅黄橙 | 粗・多 | - | - | - | - | 23.8 | 20.8 | 5.0 | - | 8/8 | 焼成前穿孔、内外：黒斑 |
| 54 | Ⅶ区 | SK02 | P21 | 弥生土器 | 台付鉢 | ﾅﾃﾞ・指押え | 板ﾅﾃﾞ | 7.5YR7/6 橙 | 7.5YR8/4 浅黄橙 | 中・多 | 細・少 | - | - | - | - | - | 3.8 | - | 2/8 | |
| 55 | Ⅰb区 | SD01 | ③ | 土師器 | 椀 | 回転ﾅﾃﾞ | 磨滅 | 10YR7/6 明黄褐 | 2.5Y7/4 浅黄 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (6.4) | - | 2/8 | |
| 56 | Ⅰa区 | SD01 | ②ﾍﾞﾙ2③3層 | 土師質土器 | 小皿 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り後板目圧痕 | 回転ﾅﾃﾞ | 10YR8/3 浅黄橙 | 10YR8/3 浅黄橙 | - | - | - | - | 中・少 | 8.5 | 1.6 | 4.8 | - | 6/8 | |
| 57 | Ⅰa区 | SD01 | ①8層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り後回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N6/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 無 | - | - | (9.1) | - | 1/8 | 火襷 |
| 58 | Ⅰa区 | SD01 | ③ | 須恵器 | 壺 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 10Y6/1 灰 | 10Y6/1 灰 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | - | - | 2/8 | |
| 59 | Ⅰa区 | SD01 | ③ | 須恵器 | 小型壺 | 回転ﾅﾃﾞ・回転糸切り | 回転ﾅﾃﾞ | 10Y8/1 灰白 | 10Y8/1 灰白 | - | - | - | - | 無 | - | - | (3.6) | - | 2/8 | |
| 60 | Ⅲ区 | SD05 SD06 | 南部・北部北畦以南 | 土師器 | 鉢 | 磨滅・指押え | 磨滅 | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 細・並 | - | - | - | - | 10.0 | 3.4 | - | - | 8/8 | |
| 61 | Ⅲ区 | SD05 SD06 | 北部北畦以南 | 土師器 | 杯 | 磨滅・回転ﾅﾃﾞ | 磨滅 | 10YR8/4 浅黄橙 | 10YR8/4 浅黄橙 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | (7.9) | - | 2/8 | |
| 62 | Ⅲ区 | SD05 SD06 | 1段掘り下げ | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ削り | 回転ﾅﾃﾞ | N7/ 灰白 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 無 | (11.5) | - | - | - | 1/8 | |
| 63 | Ⅲ区 | SD06 | 南部 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 回転ﾅﾃﾞ | N7/ 灰白 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | (9.2) | - | 1/8 | |
| 64 | Ⅲ区 | SD05 SD06 | 南部・南部最下層・北部北畦以南 | 須恵器 | 皿 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | N7/ 灰白 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | 13.3 | 2.3 | 9.9 | - | 5/8 | 火襷 |
| 65 | Ⅲ区 | SD05 SD06 | 北部北畦以南 | 須恵器 | 甕 | 格子状叩き | ﾅﾃﾞ | 10R6/2 灰赤 | N5/ 灰 | - | - | - | - | 無 | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 66 | Ⅲ区 | SD07 | 最北畦以東 | 須恵器 | 壺 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N7/ 灰白 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | 9.0 | - | - | - | 2/8 | 接合痕有 |
| 67 | Ⅲ区 | SD05 SD06 | 南部・北部北畦以南1段掘り下げ | 土錘 | 管状土錘 | 磨滅 | - | 10YR6/6 明黄褐 | - | - | - | - | - | 細・少 | 最大長：4.0 | 最大幅：1.0 | 最大厚：0.9 | 孔径：0.4 | 4/8 | |
| 70 | Ⅳ区 | SD01 | ③最下層 | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾍﾗ削り・回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N7/ 灰白 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 中・少 | (22.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 71 | Ⅳ区 | SD01 | ③最下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 7.5Y8/1 灰白 | 7.5Y7/1 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (7.6) | - | 3/8 | |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | | 法量(cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | | |
| 72 | Ⅴa区 | SD01 | 最下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ヘラ切り | 回転ﾅﾃﾞ | N7/ 灰白 | N8/ 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (8.0) | - | 1/8 | |
| 73 | Ⅴa区 | SD01 | 最下層 | 黒色土器A | 椀 | 回転ﾅﾃﾞ | 磨滅 | 10YR8/3 浅黄橙 | 10YR4/1 褐灰 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | (9.0) | - | 1/8 | A類 |
| 74 | Ⅴb区 | SD01 | 下層 | 土師器 | 杯 | 磨滅 | 磨滅 | 2.5YR/2 灰白 | 2.5YR/2 灰白 | - | - | - | - | 無 | (16.7) | 4.0 | (7.0) | - | 1/8 | |
| 75 | Ⅴa区 | SD01 | 下層 | 土師器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ | 磨滅 | 10YR8/4 浅黄橙 | 10YR8/4 浅黄橙 | - | - | - | - | 無 | (15.7) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 76 | Ⅴb区 | SD01 | 下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・ヘラ削り | 回転ﾅﾃﾞ | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y7/2 灰黄 | - | - | - | - | 細・少 | (11.9) | 3.1 | (8.0) | - | 1/8 | 火襷 |
| 77 | Ⅴa区 | SD01 | 下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ヘラ切り | 回転ﾅﾃﾞ | N6/ 灰 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (6.6) | - | 1/8 | |
| 78 | Ⅳ区 | SD01 | ③下層 | 須恵器 | 甕 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N5/ 灰 | 10Y6/1 灰 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 79 | Ⅳ区 | SD01 SD14 | 下層 | 須恵器 | 壺 | 格子状叩き | 指押え | N6/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 80 | Ⅴa区 | SD01 | 中層 | 土師器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ヘラ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 10YR8/4 浅黄橙 | 5YR6/6 橙 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (7.1) | - | 3/8 | |
| 81 | Ⅴa区 | SD01 | 中層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ヘラ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 7.5Y7/1 灰白 | 7.5Y6/1 灰 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (10.0) | - | 1/8 | |
| 82 | Ⅳ区 Ⅲ区 | SD01 SD05 SD06 | 中層・南部・北部北畦混淆1段掘り下げ | 黒色土器A | 椀 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ヘラ切り | ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 7.5YR8/4 浅黄橙 | 7.5YR7/4 にぶい橙 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | 7.4 | - | 4/8 | A類 横振5、貼付高台 |
| 83 | Ⅳ区 | SD01 | ベルト③北トレンチ上層 | 須恵器 | 杯 | 磨滅・回転ヘラ切り | 磨滅 | N8/ 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 細・並 | - | - | - | - | - | - | (8.0) | - | 1/8 | |
| 84 | Ⅳ区 | SD01 | ①上層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ヘラ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 5Y7/1 灰白 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 無 | - | - | (7.0) | - | 1/8 | |
| 85 | Ⅳ区 | SD01 | ベルト③北トレンチ上層 | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N4/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 無 | - | - | - | - | 1/8 | |
| 86 | Ⅳ区 | SD01 | ①上層 | 土師器 | 椀 | 磨滅 | 磨滅 | 5YR6/8 橙 | 2.5Y8/3 淡黄 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 87 | Ⅳ区 | SD01 | ①上層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N4/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 88 | Ⅳ区 | SD01 | ④上層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N6/ 灰 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (7.2) | - | 1/8 | 火襷 |
| 89 | Ⅳ区 | SD01 | ④上層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ヘラ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | - | 細・少 | - | - | - | - | - | (8.0) | - | 2/8 | 火襷、体部内外：炭素吸着 |
| 90 | Ⅳ区 | SD01 | ①上層 | 須恵器 | 皿 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ヘラ切り | 回転ﾅﾃﾞ | N7/ 灰白 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 無 | - | - | (11.0) | - | 1/8 | 火襷 |
| 91 | Ⅳ区 | SD01 | ベルト③はずし | 須恵器 | 甕 | 格子状叩き | 回転ﾅﾃﾞ | N5/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 92 | Ⅳ区 | SD01 | ②上層 | 須恵器 | ﾊｿｳ | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N5/ 灰 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 無 | (14.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 94 | Ⅴa区 | SD02 | | 土師器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ヘラ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 10YR8/4 浅黄橙 | 10YR8/4 浅黄橙 | - | - | - | - | 無 | (11.2) | - | - | - | 2/8 | |
| 95 | Ⅳ区 | SD02 | b②底にへばりつく | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 7.5Y5/1 灰 | 2.5Y6/1 黄灰 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (15.9) | - | 1/8 | |
| 96 | Ⅳ区 | SD02 | b③上層黄灰色粘土 | 須恵器 | 杯 | 磨滅 | 磨滅 | 7.5Y7/1 灰白 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | (14.0) | - | - | - | 1/8 未満 | 口縁内外：炭素吸着 |
| 97 | Ⅳ区 | SD02 | b③上層黄灰色粘土 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N5/ 灰 | N5/ 灰 | - | - | - | - | 無 | (13.6) | - | - | - | 1/8 | 火襷 |
| 98 | Ⅳ区 | SD02 | | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ヘラ切り | 回転ﾅﾃﾞ | N6/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 無 | - | - | (8.0) | - | 1/8 | 火襷 |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | | 法量 (cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | | |
| 99 | Ⅳ区 | SD02 | b⑤上層 黄灰色粘土 | 須恵器 | 皿 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 7.5Y7/1 灰白 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (11.0) | - | 1/8 | 火襷 |
| 100 | Ⅴａ区 | SD02 | | 須恵器 | 壺 | 格子状叩き | 回転ﾅﾃﾞ | N6/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 無 | - | - | - | - | 1/8 | |
| 102 | Ⅳ区 | SD03 | ①2 層 | 須恵器 | 杯 | 磨滅 | 磨滅 | 5Y7/1 灰白 | 5Y7/2 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (9.0) | - | 1/8 | |
| 103 | Ⅳ区 | SD13 | ② | 須恵器 | 壺 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N6/ 灰 | 10Y6/1 灰 | - | - | - | - | 無 | (8.2) | - | - | - | 1/8 | |
| 104 | Ⅵ区 | SD11 | 掃土中 | 須恵器 | 高杯 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ・ﾅﾃﾞ | N7/ 灰白 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | - | - | 1/8 | |
| 105 | Ⅶ区 | SD01 | | 弥生土器 | 甕 | 叩き後櫛毛目 | ﾍﾗ削り・ﾅﾃﾞ | 5 Y R 6/6 橙 | 10 Y R 6/3 にぶい黄橙 | 中・並 | - | - | - | - | - | - | (3.2) | - | 3/8 | |
| 106 | Ⅶ区 | SD01 | | 弥生土器 | 高杯 | 磨滅・横ﾅﾃﾞ | ﾍﾗ削り | 10 Y R 5/6 黄褐 | 10 Y R 5/6 黄褐 | 細・少 | - | 細・並 | - | - | - | - | (16.0) | - | 1/8 | 孔２個現存 |
| 107 | Ⅶ区 | SD01 | | 土師器 | 壺 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 10YR6/4 にぶい黄橙 | 7.5YR6/6 橙 | - | - | 細・多 | 細・多 | 細・少 | (26.8) | - | - | - | 1/8 | |
| 108 | Ⅶ区西拡張区 | SX02 | | 弥生土器 | 高杯 | ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 磨滅・ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 10YR8/4 浅黄橙 | 7.5YR6/6 橙 | 中・並 | - | - | - | - | - | - | - | - | 8/8 | |
| 109 | Ⅶ区 | SD01 SD02 | 畦 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | N8/ 灰白 | N8/ 灰白 | - | - | - | - | 無 | - | - | (8.2) | - | 1/8 | |
| 110 | Ⅶ区 | SD02 | | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 10Y8/1 灰白 | 7.5Y6/1 灰 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (7.0) | - | 1/8 | 火襷 |
| 111 | Ⅶ区 | SD02 | | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 5Y6/1 灰 | 5Y6/1 灰 | - | - | - | - | 無 | - | - | (7.4) | - | 1/8 | 火襷 |
| 112 | Ⅶ区 | SD02 | | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 7.5Y5/1 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (7.0) | - | 2/8 | |
| 113 | Ⅶ区西拡張区 | SD02 | | 須恵器 | 皿 | 回転ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | N6/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 細・少 | (11.8) | 1.7 | (9.1) | - | 1/8 未満 | 火襷 |
| 114 | Ⅶ区西拡張区 | SD04 | 下層 | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N5/ 灰 | N5/ 灰 | - | - | - | - | 中・少 | (17.8) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 115 | Ⅶ区西拡張区 | SD04 | 下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 7.5Y8/1 灰白 | 7.5Y8/1 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (7.0) | - | 2/8 | |
| 116 | Ⅶ区西拡張区 | SD04 | 下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 5Y8/1 灰白 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 無 | - | - | (7.4) | - | 2/8 | 火襷 |
| 117 | Ⅸ区 | SD12 | 畦はずし | 土師質土器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り後ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 2.5Y8/3 淡黄 | 2.5Y8/3 淡黄 | - | - | - | - | 細・少 | 11.4 | 2.8 | 6.1 | - | 8/8 | |
| 118 | Ⅸ区 | SD12 | 畦はずし | 土師質土器 | 杯 | 回転ﾍﾗ切り後ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/3 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | (10.0) | 2.2 | (6.4) | - | 4/8 | |
| 119 | Ⅸ区 | SD12 | 最下層灰色粘土 | 土師質土器 | 小皿 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り後ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | 8.9 | 2.0 | 4.8 | - | 8/8 | |
| 120 | Ⅸ区 | SD12 | 最下層灰色粘土 | 土師質土器 | 小皿 | 回転ﾍﾗ切り後ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 10YR8/4 浅黄橙 | 2.5Y8/2 灰白 | - | - | - | - | 中・少 | 8.7 | 1.8 | 4.8 | - | 8/8 | |
| 121 | Ⅸ区 | SD12 | 最下層灰色粘土 | 土師質土器 | 小皿 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り・ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 10YR8/3 浅黄橙 | 10YR8/3 浅黄橙 | - | - | - | - | 細・少 | 8.5 | 1.8 | 4.8 | - | 8/8 | |
| 122 | Ⅸ区 | SD12 | 最下層灰色粘土 | 土師質土器 | 小皿 | 回転ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ切り後ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | 8.4 | 1.9 | 4.5 | - | 8/8 | |
| 123 | Ⅸ区 | SD12 | 下層中央トレンチ・最下層灰色粘土 | 土師質土器 | 小皿 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り・板目圧痕 | 回転ﾅﾃﾞ | 10YR8/3 浅黄橙 | 10YR8/3 浅黄橙 | - | - | - | - | 細・少 | (8.6) | 1.7 | (5.0) | - | 4/8 | |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | | 法量(cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | | |
| 124 | Ⅰ区 | SD12 | 下層中央トレンチ・最下層灰色粘土 | 土師質土器 | 小皿 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り後ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y6/2 灰黄 | - | - | - | - | 細・少 | 8.5 | 1.7 | 4.8 | - | 4/8 | |
| 125 | Ⅰ区 | SD12 | 最下層灰色粘土 | 土師質土器 | 小皿 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り後板目圧痕 | 回転ﾅﾃﾞ | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | 9.4 | 1.9 | 5.8 | - | 7/8 | |
| 126 | Ⅰ区西拡張区 | SD12 | | 陶器 | 甕 | 格子状叩き | ﾅﾃﾞ | 7.5Y6/1 灰 | 5Y7/2 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | - | - | 1/8 未満 | 亀山系 |
| 127 | Ⅲ区 | SX04 | 西部 | 弥生土器 | 壺 | 板ﾅﾃﾞ・ﾅﾃﾞ | ﾅﾃﾞ・指押え | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y7/3 浅黄 | 中・並 | - | - | - | - | - | - | (8.9) | - | 4/8 | |
| 128 | Ⅲ区 | SX04 | 南部 | 土師器 | 甕 | ﾅﾃﾞ・刷毛目・接合痕 | 刷毛目・指押え・ﾅﾃﾞ・接合痕 | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | - | - | - | - | 中・多 | 11.0 | - | - | - | 8/8 | |
| 129 | Ⅲ区 | SX04 | 南部 | 土師器 | 器台 | 磨滅 | ﾅﾃﾞ・ﾍﾗﾅｽﾞﾘ | 5YR5/6 明赤褐 | 7.5YR6/6 橙 | 細・少 | - | 細・並 | 細・少 | 細・少 | - | - | - | - | 1/8 | |
| 130 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ下層 | 弥生土器 | 壺 | 刷毛後ﾍﾗｺﾞｷ後ヘラ描文 | 横ﾅﾃﾞ・ﾍﾗﾅﾃﾞ・指ﾅﾃﾞ | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 細・多 | - | 細・多 | 細・多 | - | (18.4) | - | - | - | 5/8 | |
| 131 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ下層 | 弥生土器 | 壺 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 10YR5/4 にぶい黄褐 | 10YR5/4 にぶい黄褐 | 細・少 | 細・少 | 細・並 | 細・多 | - | (20.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 132 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ下層 | 弥生土器 | 甕 | 磨滅・叩き後刷毛目 | 磨滅・ﾍﾗ削り | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 2.5Y6/2 灰黄 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | (13.1) | 22.5 | 4.3 | 胴部径(18.8) | 5/8 | |
| 133 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ上層・下層 | 弥生土器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目・ﾍﾗｺﾞｷ | 横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ・指押え・ﾍﾗ削り | 10YR6/4 にぶい黄橙 | 10YR5/4 にぶい黄褐 | 粗・多 | 粗・並 | 細・少 | 細・多 | - | (13.6) | - | - | 胴部径(20.2) | 2/8 | |
| 134 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ東半部 下層 | 弥生土器 | 甕 | ﾅﾃﾞ・刷毛目叩き目 | ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 中・並 | - | - | - | - | (18.7) | - | - | 胴部径(23.3) | 1/8 | |
| 135 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ東半部 下層 | 弥生土器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・叩き後ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 刷毛目・ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 2.5Y6/3 にぶい黄 | 2.5Y6/4 にぶい黄 | 中・並 | - | - | 細・少 | - | (15.8) | - | - | 胴部径(20.0) | 1/8 | |
| 136 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ上層 | 弥生土器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・叩き後刷毛目 | 横ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 10YR8/2 灰白 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 中・多 | 細・少 | - | - | - | (15.3) | - | - | - | 3/8 | |
| 137 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ上層 | 弥生土器 | 甕 | 刷毛目・指押え・刷毛目・叩き目 | 指押え・刷毛目 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 7.5YR6/6 橙 | 粗・多 | 細・多 | - | - | - | (14.6) | - | - | - | 2/8 | |
| 138 | Ⅵ区 | SR01 | 北西隅トレンチ下層 | 弥生土器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・磨滅・叩き後刷毛目 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛後ﾅﾃﾞ・接合痕 | 10YR8/2 灰白 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 細・少 | 細・並 | - | - | - | (13.0) | - | - | 胴部径(15.0) | 3/8 | 外：亀裂痕 |
| 139 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ東半部 下層 | 弥生土器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・指押え・刷毛目 | 横ﾅﾃﾞ・指押え・刷毛後ﾍﾗ削り | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y7/2 灰黄 | 中・並 | - | - | - | - | (11.6) | - | - | 胴部径(13.8) | 2/8 | |
| 140 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ下層 | 弥生土器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 横ﾅﾃﾞ・指押え後ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 10YR6/2 灰黄褐 | 10YR6/2 灰黄褐 | 中・少 | - | 細・並 | 細・並 | - | (10.6) | 11.5 | - | 胴部径(13.5) | 2/8 | |
| 141 | Ⅵ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目・指押え | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目・指押え・ﾍﾗ削り | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 粗・少 | 細・少 | - | - | - | (11.0) | 12.0 | - | 胴部径12.1 | 1/8 | |
| 142 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ下層 | 弥生土器 | 甕 | 刷毛目・ﾍﾗﾅｷ | 指押え・ﾍﾗ削り | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・並 | - | - | - | - | - | - | 5.4 | 胴部径(25.0) | 4/8 | |
| 143 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ下層 | 弥生土器 | 甕 | 刷毛目・指押え | 刷毛目・指押え | 2.5Y6/1 黄灰 | 2.5Y6/2 灰黄 | 細・多 | 細・少 | - | 細・少 | - | - | - | 4.0 | - | 1/8 | |
| 144 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ下層 | 弥生土器 | 鉢 | 横ﾅﾃﾞ・磨滅・ﾍﾗﾅｷ | 横ﾅﾃﾞ・磨滅・ﾍﾗﾅｷ | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 中・多 | 中・少 | - | - | - | (30.8) | - | - | 胴部径(31.8) | 1/8 | |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | | 法量 (cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | | |
| 145 | Ⅵ区 | SR01 | 北西隅ベルト 下層 | 弥生土器 | 鉢 | 磨滅・横ナデ・指押え後ヘラミガキ | 磨滅・横ナデ・指押え・ヘラミガキ | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・少 | - | - | - | - | (19.0) | - | - | 胴部径 (22.4) | 2/8 | |
| 146 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ 下層 | 弥生土器 | 鉢 | 指押え後横毛目 | 板ナデ・指押え後横毛目 | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y7/2 灰黄 | 中・並 | - | - | - | - | (23.8) | - | - | - | 3/8 | |
| 147 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ東半部 下層 | 弥生土器 | 鉢 | 叩き目 | 刷毛後ナデ | 2.5Y6/3 にぶい黄 | 2.5Y6/3 にぶい黄 | 粗・多 | - | - | 細・並 | - | (24.1) | - | - | - | 1/8 | 片口 |
| 148 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ 上層 | 弥生土器 | 鉢 | 剥離 | ヘラミガキ・磨滅・刷毛目 | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/1 灰白 | 粗・多 | 細・少 | - | - | - | (15.5) | 5.5 | - | - | 6/8 | 内・黒斑 |
| 149 | Ⅵ区 | SR01 | 北西隅ベルト 下層 | 弥生土器 | 鉢 | 指押え後ナデ・叩き後ナデ・亀裂痕 | 刷毛後ヘラミガキ | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・少 | - | - | - | - | 14.7 | 5.0 | 5.5 | - | 8/8 | |
| 150 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ東半部 下層 | 弥生土器 | 鉢 | 板ナデ | 指押え後板ナデ後ヘラミガキ | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・少 | - | - | - | - | - | - | 5.4 | - | 8/8 | 外・黒斑 |
| 151 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ下層 青灰色粘土 | 弥生土器 | ミニチュア鉢 | 指押え後ナデ・亀裂痕 | 指押え後ナデ・亀裂痕 | 2.5Y8/2 灰白 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 細・少 | - | - | - | - | 5.0 | 2.7 | - | - | 6/8 | |
| 152 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ東半部 下層 | 弥生土器 | ミニチュア鉢 | 指押え・ナデ | 指押え・ナデ | 2.5Y7/1 灰白 | N3/ 暗灰 | 中・少 | - | - | - | - | (4.6) | 2.8 | - | - | 5/8 | |
| 153 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ東半部 下層 | 土師器 | 壺 | ナデ・刷毛後板ナデ | ナデ・板ナデ | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 細・少 | - | - | - | - | (17.2) | - | - | - | 2/8 | |
| 154 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ東半部 下層 | 土師器 | 壺 | ナデ・ヘラミガキ・磨滅 | ナデ・板ナデ・指押え・ヘラ削り | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 中・少 | - | 細・多 | 細・多 | - | (10.8) | 14.4 | - | 胴部径 12.8 | 2/8 | |
| 155 | Ⅵ区 | SR01 | 北西隅ベルト 下層 | 土師器 | 壺 | 磨滅・指押え | 指押え後横毛目・指押え後ナデ | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 細・少 | 中・少 | - | - | - | (5.1) | - | - | - | 2/8 | |
| 156 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ東半部 下層 | 土師器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目 | 横ナデ・指押え後ナデ・ヘラ削り | 7.5YR6/3 にぶい褐 | 7.5YR6/3 にぶい褐 | 中・並 | 中・少 | 中・並 | 細・並 | - | (13.8) | - | - | 胴部径 (22.0) | 1/8 | |
| 157 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ東半部 下層 | 土師器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目 | 横ナデ・指押え | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | (14.6) | - | - | - | 2/8 | |
| 158 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ東半部 下層 | 土師器 | 鉢 | 横ナデ・ナデ・ヘラ削り | 横ナデ・磨滅・刷毛目 | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y7/2 灰黄 | 中・並 | - | - | - | - | (10.3) | - | - | - | 2/8 | |
| 159 | Ⅵ区 | SR01 | 中央トレンチ東半部 下層 粘土と砂層の境 | 土師器 | 高杯 | 磨滅・刷毛目 | 磨滅・絞り目・ヘラ削り | 7.5YR8/4 浅黄橙 | 7.5YR8/4 浅黄橙 | 細・少 | 中・並 | - | - | - | - | - | (10.6) | - | 3/8 | |
| 160 | Ⅵ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 壺 | 磨滅・横ナデ・刷毛目 | 磨滅・指押え・刷毛目 | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 中・並 | 中・少 | 中・多 | 中・並 | - | (25.0) | - | - | - | 2/8 | |
| 161 | Ⅵ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 壺 | 横ナデ・刷毛目 | 板ナデ・指押え・刷毛目 | 10YR8/3 浅黄橙 | 10YR8/3 浅黄橙 | - | - | - | - | - | 24.4 | - | - | - | 6/8 | |
| 162 | Ⅵ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 壺 | 横ナデ・叩き後板ナデ | 横ナデ・指押え後板ナデ | 10YR8/3 浅黄橙 | 10YR8/2 灰白 | 中・並 | 中・少 | - | - | - | (15.6) | - | - | - | 2/8 | |
| 163 | Ⅵ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 壺 | 横ナデ・刷毛目・板ナデ | 横ナデ・指押え後板ナデ | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | (14.4) | - | - | - | 1/8 | |
| 164 | Ⅵ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 壺 | 刷毛後ナデ・ヘラミガキ | 指ナエ | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 細・並 | 細・並 | 細・多 | 細・少 | - | - | - | - | 胴部径 9.6 | 6/8 | 外・黒斑 |
| 165 | Ⅵ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 壺 | 刷毛目 | 刷毛目 | 2.5Y6/3 にぶい黄 | 2.5Y6/2 灰黄 | 粗・多 | 中・並 | - | - | - | - | - | - | - | 8/8 | |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | 法量(cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | |
| 166 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 壺 | 叩き後板ナデ・ナデ | 指押え後板ナデ | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・少 | 中・少 | - | - | - | - | - | 4.8 | - | 8/8 | 外：黒斑 |
| 167 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・指押え・刷毛目 | 刷毛目・ナデ・指押え | 2.5Y6/3 にぶい黄 | 2.5Y6/3 にぶい黄 | 中・並 | 中・少 | 細・並 | 中・多 | - | (16.4) | - | - | - | 1/8 | |
| 168 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・ナデ後刷毛目 | 横ナデ・指押え後板ナデ | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・少 | - | - | - | - | (16.4) | - | - | - | 1/8 | |
| 169 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・指押え・刷毛目 | 横ナデ・指押え | 10YR5/4 にぶい黄褐 | 10YR5/4 にぶい黄褐 | 細・多 | 中・並 | 細・並 | 細・多 | - | (15.6) | - | - | - | 1/8 | |
| 170 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目・凹線2条 | 横ナデ・指押え後板ナデ | 10YR5/2 灰黄褐 | 10YR5/2 灰黄褐 | 細・並 | - | 細・並 | 細・並 | - | (14.5) | - | - | - | 1/8 | |
| 171 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目 | 横ナデ・指押え後板ナデ | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 中・少 | - | 細・多 | 中・多 | - | (13.5) | - | - | - | 1/8 | |
| 172 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・磨滅・叩き後刷毛目 | 磨滅・ナデ・板ナデ・ヘラ削り | 2.5Y5/3 黄褐 | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 細・並 | - | 細・並 | 中・多 | - | (13.9) | - | - | - | 1/8 | |
| 173 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・叩き目 | 横ナデ・指押え・板ナデ | 10YR8/3 浅黄橙 | 2.5Y7/2 灰黄 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | (14.0) | - | - | - | 2/8 | |
| 174 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・指押え・叩き目 | 横ナデ・刷毛目 | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y7/2 灰黄 | 中・多 | 細・少 | - | 細・少 | - | (14.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 175 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 甕 | 指押え・ナデ・叩き目 | 板ナデ・指押え・刷毛目・ヘラ削り | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y7/2 灰黄 | 中・並 | - | - | - | - | (13.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 176 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 甕 | 叩き後刷毛目・指押え後ナデ | 指押え後板ナデ | 7.5YR5/1 褐灰 | 10YR8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | - | - | 3.8 | - | 8/8 | |
| 177 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 鉢 | 横ナデ・叩き後ヘラ削り後刷毛目 | 横ナデ・板ナデ | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 中・多 | - | - | - | - | (19.0) | 7.55 | - | - | 2/8 | |
| 178 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 鉢 | 指押え後ナデ・ヘラ削り | 指押え後ナデ・ヘラ描ナデ | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・少 | 細・少 | - | 細・少 | - | (16.0) | (7.9) | - | - | 1/8 | |
| 179 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 鉢 | 指押え後ナデ・ヘラ削り | 指押え後ナデ・板ナデ後ヘラミガキ | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y7/2 灰黄 | 中・多 | - | - | - | - | 15.2 | 5.2 | - | - | 3/8 | 口縁打欠 |
| 180 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 鉢 | 横ナデ・指押え・板ナデ | 刷毛目 | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 粗・多 | 中・多 | 中・多 | 細・多 | - | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 181 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | ミニチュア鉢 | 磨滅・ナデ | 磨滅・横ナデ・指ナデ | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y4/1 黄灰 | 中・多 | 細・並 | - | - | - | (7.4) | 6.6 | 3.6 | - | 5/8 | |
| 182 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | ミニチュア鉢 | 指押え後ナデ | 指押え後ナデ | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | 5.9 | 3.0 | 1.95 | - | 7/8 | |
| 183 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 高杯 | 磨滅 | 磨滅 | 10YR6/2 灰黄褐 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 細・多 | 中・少 | 中・並 | 細・並 | - | (23.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 184 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 高杯 | 磨滅・ヘラ削り | 磨滅 | 2.5Y5/3 黄褐 | 2.5Y5/3 黄褐 | 細・多 | - | 細・多 | 細・多 | - | (18.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 185 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 高杯 | 磨滅・ヘラミガキ・穿孔4ヶ所 | 磨滅・板ナデ | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 10YR6/4 にぶい黄橙 | 細・並 | 細・少 | 細・多 | 細・多 | - | - | - | - | - | 8/8 | |
| 186 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 弥生土器 | 高杯 | 磨滅・板ナデ | 磨滅・指押え・絞り目・刷毛目・指押え | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 中・多 | 中・多 | - | - | - | - | - | - | - | 6/8 | |
| 187 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 高杯 | 磨滅・刷毛目 | 磨滅 | 2.5Y6/3 にぶい黄 | 2.5Y6/3 にぶい黄 | 中・多 | - | - | 細・少 | - | (14.8) | - | - | - | 2/8 | |
| 188 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 高杯 | 磨滅 | 磨滅 | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 5YR7/6 橙 | 中・並 | 中・多 | - | - | - | (14.8) | - | - | - | 1/8 | |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | | 法量 (cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | | |
| 189 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 高杯 | ﾅﾃﾞ・指押え | ﾅﾃﾞ | 7.5YR8/3 浅黄橙 | 7.5YR8/3 浅黄橙 | 細・並 | 細・少 | - | - | - | (14.1) | - | - | - | 1/8 | |
| 190 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 高杯 | 磨滅・刷毛目・穿孔 3 ヵ所 | 磨滅・刷毛目 | 5YR7/6 橙 | 2.5YR6/8 橙 | 細・少 | 細・並 | - | - | - | - | - | - | - | 5/8 | |
| 191 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 高杯 | 刷毛目・ﾅﾃﾞ・指押え・板ﾅﾃﾞ | ﾍﾗ削り・板ﾅﾃﾞ | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 粗・並 | 細・多 | - | - | - | - | - | - | - | 1/8 | |
| 192 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 高杯 | ﾍﾗﾐｶｷ・板ﾅﾃﾞ | 磨滅・ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 7.5YR8/2 灰白 | 7.5YR7/2 明褐灰 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | - | - | - | - | 2/8 | |
| 193 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 高杯 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 板ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 細・少 | - | - | - | - | - | - | - | - | 2/8 | |
| 194 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 高杯 | ﾅﾃﾞ | ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 2.5Y6/3 にぶい黄 | 2.5Y6/3 にぶい黄 | 細・多 | 細・並 | 細・多 | 中・多 | - | - | - | - | - | 3/8 | |
| 195 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 甕 | 磨滅 | 磨滅・刷毛目・ﾍﾗ削り | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y6/2 灰黄 | 中・多 | - | - | - | - | (16.1) | - | - | - | 2/8 | |
| 196 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 甕 | 板ﾅﾃﾞ・指ﾅﾃﾞ | 板ﾅﾃﾞ・指ﾅﾃﾞ | 2.5Y5/2 暗灰黄 | 2.5Y5/2 暗灰黄 | 中・多 | 細・並 | 細・並 | 中・多 | - | (14.4) | - | - | - | 1/8 | |
| 197 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 指押え後横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y7/2 灰黄 | 中・並 | - | - | - | - | (11.0) | 13.3 | - | 胴部径 14.1 | 5/8 | 外：黒斑 |
| 198 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 甕 | 指押え・ﾅﾃﾞ叩き目 | 磨滅・ﾍﾗ削り後ﾅﾃﾞ | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 中・並 | - | - | - | - | (15.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 199 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 指押え・板ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 中・多 | 中・多 | - | - | - | (10.9) | - | - | - | 2/8 | |
| 200 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 甕 | 磨滅・板ﾅﾃﾞ | 指押え・板ﾅﾃﾞ | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/3 浅黄橙 | 中・多 | 中・多 | - | - | - | (14.5) | - | - | - | 2/8 | |
| 201 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 横ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 細・多 | - | - | - | - | (13.2) | - | - | - | 3/8 | 吉備系 |
| 202 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 鉢 | 指押え後ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 板ﾅﾃﾞ | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・多 | 中・少 | - | - | - | (16.7) | - | - | - | 2/8 | |
| 203 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 鉢 | 横ﾅﾃﾞ・指押え・ﾍﾗ削り | 板ﾅﾃﾞ・磨滅 | 7.5YR7/6 橙 | 7.5YR7/6 橙 | 中・多 | 中・多 | - | - | - | (14.0) | - | - | - | 3/8 | |
| 204 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 鉢 | 板ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 指押え後ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 中・多 | 中・少 | - | - | - | 12.8 | 3.95 | - | - | 5/8 | |
| 205 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 鉢 | 指押え・ﾍﾗ削り | 横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 2.5Y7/3 浅黄 | 5Y2/1 黒 | 粗・多 | - | - | - | - | (12.0) | 2.6 | - | - | 3/8 | 内外：黒斑 |
| 206 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 鉢 | 指押え | 指ﾅﾃﾞ | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 細・並 | 細・少 | - | - | - | (11.4) | 2.8 | - | - | 1/8 | |
| 207 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 壺 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 細・並 | - | 細・並 | 細・並 | - | (26.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 208 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 壺 | 横ﾅﾃﾞ・指押え後板ﾅﾃﾞ | 板ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 7.5YR5/3 にぶい褐 | 10YR6/2 灰黄褐 | 中・多 | 中・並 | 細・多 | 中・並 | - | (22.8) | - | - | - | 2/8 | |
| 209 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 壺 | 磨滅 | 磨滅 | 5YR6/6 橙 | 7.5YR6/2 にぶい橙 | 中・多 | 中・並 | 細・少 | 細・並 | - | (25.2) | - | - | - | 1/8 | |
| 210 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 壺 | 横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ・指押え | 横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 中・多 | 中・多 | - | 細・多 | - | (20.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 211 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 壺 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 刷毛目・指押え・横ﾅﾃﾞ | 10YR5/4 にぶい黄褐 | 10YR6/2 灰黄褐 | 粗・並 | 中・並 | 細・並 | 細・多 | - | (25.0) | - | - | - | 2/8 | |
| 212 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 壺 | 刷毛目・板ﾅﾃﾞ | 磨滅・横ﾅﾃﾞ・刷毛目・ﾍﾗ削り | 2.5Y8/1 灰白 | N3/ 暗灰 | 中・並 | - | - | - | - | (17.8) | - | - | - | 2/8 | |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | | 法量(cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | | |
| 213 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | ミニチュア品 | 指押え後ﾅﾃﾞ | 指押え後ﾅﾃﾞ | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y7/2 灰黄 | 中・並 | - | - | - | - | 7.0 | 6.2 | 3.2 | - | 7/8 | |
| 214 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 土師器 | 皿 | 磨滅 | 回転ﾅﾃﾞ | 2.5Y7/3 浅黄 | 5YR5/6 明 赤褐 | - | - | - | - | 中・少 | (19.0) | (3.0) | - | - | 1/8 未満 | 内外：赤色顔料付着 |
| 215 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾅﾃﾞ、重ね焼き痕 | N3/ 暗灰 | N4/ 灰 | - | - | - | - | 細・少 | (18.4) | - | - | - | 1/8 | |
| 216 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N8/ 灰白 | N8/ 灰白 | - | - | - | - | 無 | (17.8) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 217 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N6/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 細・少 | (15.4) | - | - | - | 1/8 | |
| 218 | Ⅶ区 | SR02 | | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N6/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 細・少 | (16.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 219 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 7.5Y6/1 灰 | 7.5Y6/1 灰 | - | - | - | - | 中・少 | (14.6) | (2.5) | - | - | 1/8 | |
| 220 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾍﾗ切り→回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 7.5Y7/1 灰白 | 7.5Y6/1 灰 | - | - | - | - | 中・少 | (15.0) | 1.3 | - | - | 1/8 | |
| 221 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 10Y5/1 灰 | 10Y5/1 灰 | - | - | - | - | 中・少 | (14.4) | - | - | - | 1/8 | |
| 222 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾍﾗ削り→回転ﾅﾃﾞ、自然釉 | 回転ﾅﾃﾞ | N6/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 中・少 | (12.6) | - | - | - | 1/8 | |
| 223 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾅﾃﾞ | ﾅﾃﾞ | 10Y5/1 灰 | 10Y8/1 灰白 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | - | - | 8/8 | |
| 224 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ→回転ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 7.5Y8/1 灰白 | 7.5Y8/1 灰白 | - | - | - | - | 中・少 | (15.5) | 3.9 | (10.4) | - | 1/8 | |
| 225 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ→回転ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | N6/ 灰 | N5/ 灰 | - | - | - | - | 中・少 | (14.8) | 3.5 | (10.8) | - | 3/8 | |
| 226 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 7.5Y5/1 灰 | 7.5Y5/1 灰 | - | - | - | - | 中・少 | (16.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 227 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N5/ 灰 | N4/ 灰 | - | - | - | - | 無 | (16.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 228 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N5/ 灰 | N5/ 灰 | - | - | - | - | 中・少 | (11.0) | 4.7 | (8.7) | - | 1/8 | |
| 229 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N5/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (9.0) | - | 2/8 | |
| 230 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 杯 | 磨滅 | 回転ﾅﾃﾞ | 5Y8/1 灰白 | 7.5Y8/1 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (13.4) | - | 1/8 | |
| 231 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N6/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | (11.0) | - | 1/8 | |
| 232 | Ⅶ区 | SR01 | 上層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ→回転ﾍﾗ切り後ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N7/ 灰白 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (14.0) | - | 1/8 | 火襷 |
| 233 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾍﾗ切り→回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 5Y7/1 灰白 | N5/ 灰 | - | - | - | - | 中・並 | - | - | (9.0) | - | 2/8 | |
| 234 | Ⅶ区 | SR01 | 上層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾍﾗ切り→回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N7/ 灰白 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (7.0) | - | 1/8 | |
| 235 | Ⅶ区 | SR01 | 上層 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾍﾗ切り→回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 5Y7/1 灰白 | 5Y7/1 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (7.0) | - | 1/8 | 火襷 |
| 236 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 皿 | 回転ﾍﾗ切り→回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N7/ 灰白 | N7/ 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | (16.9) | 2.7 | (13.3) | - | 1/8 未満 | 内外：炭素吸着 |
| 237 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 皿 | 回転ﾅﾅﾃﾞ→回転ﾍﾗ切り | ﾅﾅﾃﾞ→回転ﾅﾅﾃﾞ | 2.5Y8/1 灰白 | 2.5Y8/1 灰白 | - | - | - | - | 中・少 | (16.6) | 2.2 | (13.0) | - | 2/8 | |
| 238 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 須恵器 | 甕 | 回転ﾅﾅﾃﾞ→櫛描波状文 | 回転ﾅﾃﾞ | 7.5Y7/1 灰白 | 7.5Y7/1 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | (41.8) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 245 | Ⅶ区 | SR01 | 北壁№.2 | 弥生土器 | 壺 | 横ﾅﾃﾞ・櫛毛目 | 櫛毛目・ﾍﾗ削り | 10YR8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | 15.4 | - | - | 胴部径(23.5) | 4/8 | |
| 246 | Ⅶ区 | SR01 | 南区砂層 | 弥生土器 | 壺 | 横ﾅﾃﾞ・指押え・櫛毛目 | 櫛毛目・指ﾅﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ、指押え | 10YR5/4 にぶい黄 | 10YR6/4 にぶい黄橙 | 中・少 | 細・少 | 細・並 | 細・多 | - | (16.0) | - | - | - | 1/8 未満 | |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | | 法量 (cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | | |
| 247 | 1区 | SR01 | 南区砂層 | 弥生土器 | 壺 | 横ナデ・刷毛目 | 刷毛目 | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 中・並 | - | - | - | - | (16.4) | - | - | - | 1/8 | |
| 248 | 1区 | SR01 | 北壁№2 | 弥生土器 | 壺 | 横ナデ・磨滅 | 横ナデ・磨滅 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR5/1 褐灰 | 中・少 | 中・少 | - | - | - | (23.9) | - | - | - | 2/8 | |
| 249 | 1区 | SR01 | 南区砂層・精査中 | 弥生土器 | 壺 | 横ナデ・叩き後刷毛目・横ナデ | 板ナデ・刷毛目 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 中・並 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1/8 | |
| 250 | 1区 | SR01 | 北区 | 弥生土器 | 壺 | 横ナデ・刷毛目 | 指押え・ヘラ当て | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | (9.6) | 11.0 | - | 胴部径 13.6 | 7/8 | |
| 251 | 1区 | SR01 | 中央区砂層 | 弥生土器 | 壺 | 指押え後ナデ・刷毛目・ヘラ削り | 指押え後ナデ・板ナデ | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 中・少 | - | - | - | - | 5.8 | 8.2 | - | 胴部径 10.0 | 6/8 | 地成後胴部打欠 |
| 252 | 1区 | SR01 | 北区 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目 | 横ナデ・指押え後ナデ・磨滅 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 7.5YR5/3 にぶい褐 | 中・少 | - | - | 細・少 | - | (15.6) | - | - | 胴部径 (24.0) | 2/8 | |
| 253 | 1区 | SR01 | 北壁トレンチ | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目 | 刷毛目・指押え・ヘラ削り | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | (16.6) | - | - | 胴部径 (21.8) | 2/8 | 外：煤付着 |
| 254 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・叩き目・刷毛目 | 横ナデ・板ナデ・接合痕 | 5Y4/1 灰 | 2.5Y7/4 浅黄 | 中・多 | - | - | - | - | (16.2) | - | - | 胴部径 (19.5) | 1/8 | |
| 255 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・板ナデ | 横ナデ・板ナデ・ヘラ削り | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | (16.0) | - | - | - | 2/8 | |
| 256 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・指押え・刷毛目 | 板ナデ・ヘラ削り | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y7/3 浅黄 | 中・多 | 細・少 | - | - | - | (16.0) | - | - | - | 2/8 | |
| 257 | 1区 | SR01 | 中央区砂層 | 弥生土器 | 甕 | 叩き後刷毛目 | 板ナデ後ヘラナデ・ヘラ削り | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | (15.6) | - | - | - | 3/8 | 外：煤付着 |
| 258 | 1区 | SR01 | 中央区砂層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・叩き目 | 刷毛目 | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | (15.8) | - | - | - | 1/8 | |
| 259 | 1区 | SR01 | 北区 | 弥生土器 | 甕 | 叩き後刷毛目 | 横ナデ・刷毛目 | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 細・並 | 細・少 | - | 細・少 | - | (13.4) | - | - | 胴部径 (17.8) | 3/8 | |
| 260 | 1区 | SR01 | 北壁№1 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・叩き後刷毛目 | 指押え・刷毛目 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR8/3 浅黄橙 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | (11.9) | - | - | - | 1/8 | |
| 261 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・磨滅・刷毛後ナデ | 横ナデ・ナデ・ヘラミガキ | 2.5Y7/3 浅黄 | 10YR8/3 浅黄橙 | 中・並 | 細・並 | - | - | - | (12.9) | 13.2 | - | 胴部径 (15.0) | 3/8 | 外：黒斑 |
| 262 | 1区 | SR01 | 精査中 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目 | 横ナデ・板ナデ | 10YR8/3 浅黄橙 | 10YR8/3 浅黄橙 | 中・並 | 中・少 | - | - | - | (15.0) | - | - | - | 2/8 | |
| 263 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目 | 横ナデ・刷毛目・ヘラ削り | 10YR4/2 灰黄褐 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 中・少 | - | - | - | - | 15.3 | - | - | 胴部径 (16.9) | 4/8 | |
| 264 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 弥生土器 | 甕 | 指押え・横ナデ・刷毛目 | 刷毛後横ナデ・指押え後刷毛目・ヘラ削り後指ナデ | 2.5Y8/3 淡黄 | 2.5Y7/2 灰黄 | 中・並 | - | - | - | - | 10.0 | (14.4) | - | 胴部径 13.3 | 7/8 | 外：黒斑 |
| 265 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 弥生土器 | 甕 | 刷毛目・指押え | ヘラ削り・指押え・刷毛目 | 10YR5/1 褐灰 | 10YR5/2 灰黄褐 | 中・並 | - | - | - | - | - | - | - | - | 3/8 | 外：煤付着 |
| 266 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・叩き後板ナデ | 横ナデ・ナデ・ヘラ削り後ナデ | 2.5Y8/3 淡黄 | 10YR7/4 にぶい黄橙 | 細・並 | - | - | 細・少 | - | - | - | - | 胴部径 16.7 | 6/8 | |
| 267 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 弥生土器 | 鉢 | 横ナデ・指押え・刷毛目 | 刷毛目・指押え | 2.5Y8/1 灰白 | 7.5YR8/2 灰白 | 中・多 | 中・少 | - | - | - | - | - | - | 胴部径 26.1 | 5/8 | 片口 |
| 268 | 1区 | SR01 | 精査中 | 弥生土器 | 鉢 | ナデ・指押え・刷毛目・叩き目 | 刷毛目・ヘラ削り | 2.5Y8/3 淡黄 | 2.5Y8/3 淡黄 | 細・少 | - | - | 細・少 | - | (19.0) | - | - | - | 1/8 | |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | 法量(cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | |
| 269 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 弥生土器 | 鉢 | 指押え後ﾅﾃﾞ | 指押え後板ﾅﾃﾞ | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・多 | 細・少 | - | - | - | 15.7 | 4.3 | 3.7 | - | 3/8 | |
| 270 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 弥生土器 | 鉢 | 横ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り・指押え | 横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 5Y2/1 黒 | 2.5Y8/2 灰白 | 粗・多 | - | - | 細・少 | - | (17.7) | 3.9 | - | - | 2/8 | |
| 271 | 1区 | SR01 | 南区砂層 | 弥生土器 | 鉢 | 板ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 2.5Y5/2 暗 灰色 | 2.5Y4/1 黄灰 | 細・少 | - | - | 細・少 | - | (14.4) | - | - | - | 1/8 | |
| 272 | 1区 | SR01 | 南区砂層 | 弥生土器 | 鉢 | 叩き目 | 指ﾅﾃﾞ | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | (13.1) | 4.9 | 1.6 | - | 7/8 | 口縁内折 |
| 273 | 1区 | SR01 | 精査中 | 弥生土器 | 鉢 | ﾅﾃﾞ・叩き目・ﾍﾗ削り | ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 2.5Y5/3 黄褐 | 2.5Y3/1 黒褐 | 細・少 | - | - | 細・少 | - | (8.9) | 6.3 | 2.1 | - | 5/8 | |
| 274 | 1区 | SR01 | 中央区砂層 | 弥生土器 | ミニチュア鉢 | ﾅﾃﾞ | ﾅﾃﾞ | 2.5Y5/3 黄褐 | 2.5Y3/1 黒褐 | 中・多 | 細・少 | 細・多 | 細・多 | - | - | - | 2.6 | 胴部径5.4 | 8/8 | |
| 275 | 1区 | SR01 | 南区砂層 | 弥生土器 | 高杯 | 横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | ﾍﾗﾐｶﾞｷ・ﾍﾗ削り・ｶﾞﾝ | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR5/4 にぶい赤褐 | 中・少 | - | 細・並 | - | - | - | - | - | - | 8/8 | |
| 276 | 1区 | SR01 | 南区 | 土師器 | 壺 | 横ﾅﾃﾞ・磨滅・ﾍﾗﾐｶﾞｷ・ﾍﾗ削り | 横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ・ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | - | - | - | 胴部径14.4 | 6/8 | |
| 277 | 1区 | SR01 | | 土師器 | 甕 | 磨滅・刷毛目 | 磨滅 | 5YR5/6 明 赤褐 | 5YR5/8 明 赤褐 | 粗・並 | 細・並 | 中・多 | 細・多 | - | (13.4) | - | - | 胴部径(19.4) | 2/8 | |
| 278 | 1区 | SR01 | 南区砂層 | 土師器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 刷毛目・横ﾅﾃﾞ・指押え・ﾍﾗ削り | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 2.5Y6/2 灰黄 | - | 中・少 | 細・少 | 細・多 | - | (13.8) | - | - | - | 2/8 | |
| 279 | 1区 | SR01 | 北壁№.1 | 土師器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 中・並 | - | 細・多 | 細・多 | - | (13.4) | - | - | 胴部径(18.0) | 1/8 | 外：煤付着 |
| 280 | 1区 | SR01 | 南区砂層 | 土師器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・叩き目・刷毛目 | 刷毛目・板ﾅﾃﾞ | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | (15.6) | - | - | - | 2/8 | 外：煤付着 |
| 281 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 土師器 | 甕 | 叩き後刷毛目 | 指押え後刷毛目・ヘラ削り | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 10YR6/1 褐灰 | 中・並 | - | - | - | - | (13.2) | - | - | - | 1/8 | |
| 282 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 土師器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 板ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ後刷毛目 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 10YR4/1 褐灰 | 中・多 | 中・少 | - | - | - | 14.5 | - | - | - | 6/8 | |
| 283 | 1区 | SR01 | 北壁№.1 | 土師器 | 甕 | 磨滅 | 磨滅・刷毛目 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 細・少 | 細・並 | - | - | - | (14.1) | - | - | - | 2/8 | |
| 284 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 土師器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・指押え・刷毛目 | 刷毛目・板ﾅﾃﾞ | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 粗・並 | 細・少 | - | - | - | (14.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 285 | 1区 | SR01 | 北壁№.1 | 土師器 | 甕 | 磨滅・指押え | 磨滅・板ﾅﾃﾞ・指押え | 10YR8/4 浅黄橙 | 10YR8/4 浅黄橙 | 粗・多 | 中・並 | - | - | - | (15.5) | - | - | - | 2/8 | |
| 286 | 1区 | SR01 | 北区 | 土師器 | 甕 | ﾅﾃﾞ・磨滅 | 指押え・横ﾅﾃﾞ | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 中・多 | 中・少 | - | - | - | 12.5 | - | - | - | 4/8 | |
| 287 | 1区 | SR01 | 北区 | 土師器 | 甕 | 磨滅・板ﾅﾃﾞ | 板ﾅﾃﾞ | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | (14.0) | - | - | 胴部径(18.8) | 1/8 | |
| 288 | 1区 | SR01 | 中央区砂層 | 土師器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ・ﾍﾗ削り | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・並 | 中・少 | - | 細・少 | - | (15.6) | - | - | - | 1/8 | |
| 289 | 1区 | SR01 | 北区 | 土師器 | 甕 | 板ﾅﾃﾞ・ﾅﾃﾞ | 刷毛目 | 7.5YR5/3 にぶい褐 | 7.5Y4/3 褐 | 粗・多 | - | - | 細・少 | - | - | - | - | - | 1/8 | 内：赤褐色付着物 |
| 290 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 土師器 | 甕 | 刷毛目・横ﾅﾃﾞ・磨滅 | 横ﾅﾃﾞ・ヘラ削り | 10YR8/3 浅黄橙 | 10YR8/3 浅黄橙 | 細・並 | 細・少 | - | - | - | (15.1) | - | - | 胴部径(22.5) | 2/8 | 吉備系 |
| 291 | 1区 | SR01 | 南区砂層 | 土師器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目・ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 横ﾅﾃﾞ・指押え・ヘラ削り | 10YR8/3 浅黄橙 | 2.5Y6/1 黄灰 | 中・少 | 細・少 | - | - | - | 9.8 | 13.3 | - | 胴部径13.7 | 7/8 | 口縁外面にヘラミガキ工具のあたり有り<br>外：黒斑 |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | | 法量 (cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | | |
| 292 | 1区 | SR01 | 南区 | 土師器 | 甕 | 刷毛目・板ナデ | 刷毛目・指押え・板ナデ | 10YR8/3 浅黄橙 | 10YR8/3 浅黄橙 | 細・多 | 細・少 | - | - | - | (7.4) | - | - | 胴部径(9.3) | 2/8 | |
| 293 | 1区 | SR01 | 北区 | 土師器 | 鉢 | ナデ・指ナデ | 磨滅 | 7.5YR6/6 橙 | 7.5YR6/6 橙 | 細・多 | 中・並 | - | 細・並 | - | 16.0 | 4.5 | - | - | 6/8 | |
| 294 | 1区 | SR01 | 北区 | 土師器 | 鉢 | 板ナデ・指押え | 板ナデ | 2.5Y8/3 淡黄 | 2.5Y8/3 淡黄 | 粗・多 | 細・並 | - | - | - | - | - | - | - | 2/8 | |
| 295 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 土師器 | 鉢 | 指押え後ナデ・ヘラ削り | 指押え後ナデ・板ナデ | 2.5Y7/2 灰黄 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・多 | - | - | - | - | 15.1 | 6.3 | - | - | 5/8 | 外：黒斑 |
| 296 | 1区 | SR01 | | 土師器 | 鉢 | 横ナデ・板ナデ | 横ナデ・ヘラミガキ | 5YR6/6 橙 | 5Y6/1 灰 | - | - | - | - | - | 13.9 | 4.6 | - | - | 7/8 | |
| 297 | 1区 | SR01 | 北区 | 土師器 | 鉢 | ヘラ削り | 磨滅 | 5YR6/6 橙 | 7.5Y6/4 にぶい橙 | 中・並 | 中・並 | 細・少 | - | - | (12.1) | - | - | - | 4/8 | |
| 298 | 1区 | SR01 | 精査中 | 土師器 | 鉢 | ナデ・ヘラ削り | 板ナデ後ナデ | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 細・多 | - | - | - | - | (12.0) | - | - | - | 2/8 | |
| 299 | 1区 | SR01 | 北区 | 土師器 | 鉢 | ナデ・ヘラ削り | ナデ・刷毛目 | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/3 淡黄 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | 11.2 | 3.5 | - | - | 3/8 | |
| 300 | 1区 | SR01 | 南区砂層 | 土師器 | 鉢 | 指押え・指ナデ | 指ナデ | 2.5Y7/4 浅黄 | 2.5Y7/4 浅黄 | 細・少 | - | - | - | - | 8.3 | 3.0 | - | - | 7/8 | |
| 301 | 1区 | SR01 | 北区黒色粘土層 | 土師器 | 鉢 | 指押え・ナデ | 指押え・ナデ | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y7/3 浅黄 | 中・少 | 中・少 | - | - | - | (7.4) | (2.2) | - | - | 2/8 | |
| 302 | 1区 | SR01 | 北壁No.1 | 土師器 | 鉢 | 指押え後板ナデ | 指押え後ナデ・板ナデ | 2.5Y8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・少 | 細・少 | - | - | - | 10.5 | 7.1 | - | - | 7/8 | |
| 303 | 1区 | SR01 | 中央区 | 土師器 | 高坏 | 磨滅・ヘラミガキ | 板ナデ後ヘラミガキ | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・並 | 中・並 | - | - | - | (10.1) | - | - | - | 2/8 | |
| 304 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 弥生土器 | 壺 | 横ナデ・凹線2条・刷毛目沈線 | 横ナデ・板ナデ | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・多 | - | - | - | - | (21.2) | - | - | - | 1/8 | |
| 305 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 壺 | 刷毛目 | 刷毛目・指押え | 2.5Y7/3 浅黄 | 10YR8/4 浅黄橙 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | 20.6 | - | - | - | 4/8 | |
| 306 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 弥生土器 | 壺 | 横ナデ・刷毛後ミガキ | 板ナデ・刷毛目 | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 中・多 | - | - | - | - | (20.6) | - | - | - | 1/8 | |
| 307 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 弥生土器 | 壺 | 横ナデ | 横ナデ・指押え後ナデ | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 中・並 | 細・並 | 細・並 | 細・多 | - | (15.5) | - | - | - | 1/8 | |
| 308 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 弥生土器 | 壺 | 刷毛目・磨滅 | 板ナデ・ナデ | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/4 浅黄 | 細・並 | - | - | - | - | - | - | - | - | 2/8 | |
| 309 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 壺 | 横ナデ・ヘラミガキ | 横ナデ・指押え | 10YR5/4 にぶい黄褐 | 10YR5/4 にぶい黄褐 | 粗・少 | 細・並 | 細・並 | 中・多 | - | (10.0) | - | - | 胴部径(10.8) | 3/8 | |
| 310 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目 | 横ナデ・指ナデ・指押え・ヘラ削り | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 中・並 | - | 細・多 | 細・多 | - | 13.2 | 19.0 | - | 胴部径18.4 | 7/8 | 外：黒斑 |
| 311 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目 | 横ナデ・刷毛後ナデ | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 10YR5/4 にぶい黄褐 | 中・多 | 細・少 | 細・並 | 細・並 | - | (16.7) | - | - | - | 1/8 | |
| 312 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目 | 横ナデ・指押え後ナデ | 2.5Y5/2 暗灰黄 | 2.5Y5/2 暗灰黄 | 細・少 | - | 細・並 | 細・多 | - | (16.0) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 313 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目 | 横ナデ・刷毛目・指押え後板ナデ | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 2.5Y5/3 黄褐 | 中・並 | 細・少 | 細・並 | 中・並 | - | (14.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 314 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 甕 | 指押え後ナデ・刷毛目 | 指押え後ナデ・刷毛目 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 中・少 | - | - | - | - | (22.5) | - | - | - | 1/8 | |
| 315 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 甕 | 叩き後ナデ | 刷毛目 | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 細・少 | 細・少 | - | - | - | (16.6) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 316 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 甕 | 叩き目・刷毛目 | 横ナデ・刷毛目・指押え | 7.5YR8/3 浅黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 中・並 | 中・少 | - | - | - | (17.4) | - | - | - | 1/8 | |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | 法量(cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | |
| 317 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 弥生土器 | 甕 | 横ナデ・叩き後刷毛目 | 横ナデ・板ナデ | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・多 | - | - | - | - | (14.2) | - | - | - | 1/8 | |
| 318 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 甕 | 刷毛目 | 刷毛目・ヘラ削り | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 中・並 | - | 細・並 | - | - | (14.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 319 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 弥生土器 | 甕 | 刷毛目 | 刷毛目・板ナデ | 10YR8/3 浅黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 細・多 | 細・多 | - | 細・少 | - | (10.6) | - | - | - | 1/8 | |
| 320 | 1区 | SR02 | 中央区 | 弥生土器 | 甕 | 指押え後ヘラミガキ | ヘラ削り・指押え後板ナデ | 7.5YR5/1 褐灰 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 中・少 | - | 細・多 | 中・少 | - | - | - | 4.7 | - | 8/8 | 底部焼成後穿孔 |
| 321 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 鉢 | 横ナデ・磨滅・刷毛目・板ナデ | 磨滅・刷毛目・ナデ | 5YR7/6 橙 | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 粗・多 | 細・少 | - | - | - | - | - | - | - | 1/8 未満 | 片口 |
| 322 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 弥生土器 | 鉢 | 横ナデ・指押え・叩き後刷毛目 | 刷毛目・横ナデ・ヘラミガキ | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/4 浅黄 | 粗・並 | - | - | - | - | (34.5) | - | - | - | 1/8 | |
| 323 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 鉢 | 横ナデ・指押え・叩き後刷毛目後ヘラ削り | 刷毛後ヘラミガキ | 10YR8/3 浅黄橙 | 10YR8/3 浅黄橙 | 中・並 | 中・少 | - | - | - | (33.2) | - | - | - | 1/8 | |
| 324 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 鉢 | 指押え・横ナデ・ナデ | 指押え・刷毛目 | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 中・多 | 細・少 | - | 細・少 | - | (22.6) | - | - | - | 1/8 | |
| 325 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 鉢 | 指押え後ナデ・刷毛目・ヘラ削り | 刷毛目 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 中・並 | - | - | 細・少 | - | (22.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 326 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 弥生土器 | 鉢 | 横ナデ・ヘラ削り後刷毛目 | 横ナデ・刷毛目 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 細・少 | 細・少 | - | - | - | (20.0) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 327 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 弥生土器 | 鉢 | 横ナデ・ヘラ削り | 横ナデ・磨滅・刷毛目 | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 細・並 | 細・少 | 細・並 | 細・多 | - | (18.9) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 328 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 弥生土器 | 鉢 | 横ナデ・叩き後刷毛後ナデ | 横ナデ・刷毛後ナデ | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 細・少 | - | - | - | - | (17.9) | - | - | - | 1/8 | |
| 329 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 鉢 | ナデ・板ナデ・ヘラ削り | 刷毛目 | 10YR7/4 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 細・並 | 細・少 | - | - | - | (16.7) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 330 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 鉢 | 横ナデ・ヘラ削り | 板ナデ後ナデ | 2.5Y8/3 淡黄 | 2.5Y8/3 淡黄 | 中・並 | - | - | - | - | (19.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 331 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 鉢 | 横ナデ・板ナデ後ヘラミガキ・ヘラ削り・刷毛目 | 横ナデ・ヘラミガキ | 2.5Y7/4 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 細・並 | - | - | 細・少 | - | (16.6) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 332 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 鉢 | 横ナデ・ヘラ削り後ヘラミガキ | 横ナデ・ヘラミガキ | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 中・並 | 中・少 | 細・多 | 細・少 | - | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 333 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 高杯 | 横ナデ・磨滅・ヘラミガキ | 横ナデ・磨滅・ヘラミガキ | 7.5YR6/3 にぶい褐 | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 中・並 | 中・少 | 細・並 | 細・少 | - | (17.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 334 | 1区 | SR02 | 砂層 | 弥生土器 | 高杯 | ナデ・刷毛目 | ナデ・絞り目 | 2.5Y8/3 淡黄 | 2.5Y8/3 淡黄 | 細・多 | - | - | - | - | - | - | - | - | 8/8 | |
| 335 | 1区 | SR02 | 砂層 | 土師器 | 壺 | 横ナデ・刷毛目・横ナデ | 横ナデ・ヘラミガキ | 2.5Y6/3 にぶい黄 | 2.5Y6/3 にぶい黄 | 細・多 | 細・多 | 細・少 | 細・多 | - | 30.2 | - | - | - | 4/8 | |
| 336 | 1区 | SR02 | 砂層 | 土師器 | 壺 | 刷毛後横ナデ | 刷毛後横ナデ | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 中・少 | - | 細・多 | 細・並 | - | (25.7) | - | - | - | 2/8 | |
| 337 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 土師器 | 壺 | 刷毛後横ナデ | 板ナデ | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 10YR5/3 にぶい黄褐 | 細・並 | 中・少 | 細・並 | 細・多 | - | 21.9 | - | - | - | 7/8 | |
| 338 | 1区 | SR02 | 砂層 | 土師器 | 壺 | ナデ・沈線1条・刷毛目 | ナデ・板ナデ | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・少 | 細・少 | - | - | (結晶片岩)中・多 | (20.6) | - | - | - | 1/8 | 搬入品(阿波)、結晶片岩含 |
| 339 | 1区 | SR02 | 砂層 | 土師器 | 壺 | ナデ・貼付突帯文・指押え | ナデ | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 粗・多 | 細・少 | - | 細・少 | - | - | - | - | - | 2/8 | |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | | 法量 (cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | | |
| 340 | 1区 | SR02 | 砂層 | 土師器 | 壺 | 刷毛目・横ナデ・ヘラミガキ | 指押え・ナデ | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 中・並 | - | 細・多 | 細・多 | - | 12.0 | 15.9 | - | 胴部径 14.0 | 7/8 | |
| 341 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 土師器 | 壺 | 横ナデ・指押え後板ナデ | 横ナデ・指押え後板ナデ | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 中・多 | - | - | - | - | (9.5) | 8.0 | - | - | 2/8 | |
| 342 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 土師器 | 甕 | 刷毛後ナデ叩き後刷毛目 | 刷毛目・板ナデ後ナデ・ヘラ削り | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 中・並 | - | - | 細・少 | - | (19.3) | - | - | 胴部径 (22.0) | 1/8 | |
| 343 | 1区 | SR02 | 砂層 | 土師器 | 甕 | 横ナデ・板ナデ・刷毛目 | 横ナデ・刷毛目・板ナデ・ヘラ削り | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 10YR5/1 褐灰 | 中・多 | - | - | 細・少 | - | (16.6) | - | - | - | 4/8 | |
| 344 | 1区 | SR02 | 砂層 | 土師器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目 | 横ナデ・ヘラ削り・指押え | 5YR6/4 にぶい橙 | 5YR7/6 橙 | 中・並 | 細・少 | 細・少 | 中・少 | - | (15.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 345 | 1区 | SR02 | 中央区 | 土師器 | 甕 | 横ナデ・指押え後板ナデ叩き目 | 横ナデ・板ナデ後ナデ | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 中・並 | 中・少 | - | - | - | (14.8) | - | - | - | 2/8 | |
| 346 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 土師器 | 甕 | 磨滅 | 刷毛目・ヘラ削り | 7.5YR5/4 にぶい褐 | 7.5YR5/4 にぶい褐 | 細・多 | 細・並 | 細・並 | 細・多 | - | (15.2) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 347 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 土師器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目 | 刷毛後横ナデ・板ナデ・ヘラ削り | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 中・並 | - | - | - | - | (13.8) | - | - | 胴部径 (17.2) | 1/8 | |
| 348 | 1区 | SR02 | 砂層 | 土師器 | 甕 | 指押え・叩き後刷毛目 | 刷毛目・板ナデ・ヘラ削り・撫で調 | 5Y6/3 オリーブ黄 | 5Y2/1 黒 | 中・並 | - | - | 細・少 | - | (11.8) | 12.2 | - | - | 3/8 | 外：黒斑 |
| 349 | 1区 | SR02 | 中央区 | 土師器 | 甕 | 横ナデ・刷毛目 | 刷毛目・板ナデ後指押え・ヘラ削り | 10YR5/4 にぶい黄褐 | 7.5YR5/4 にぶい褐 | 細・並 | 中・並 | 細・並 | 細・多 | - | (13.0) | - | - | 胴部径 (19.5) | 5/8 | 外面煤付着 |
| 350 | 1区 | SR02 | 砂層 | 土師器 | 甕 | 刷毛目・横ナデ | 横ナデ | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 細・並 | - | 細・少 | 細・少 | - | (18.0) | - | - | - | 1/8 未満 | 吉備系 |
| 351 | 1区 | SR02 | 砂層 | 土師器 | 甕 | 刷毛目・板ナデ後横ナデ・磨滅 | 板ナデ後横ナデ・指押え | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 中・並 | - | 細・少 | 細・少 | - | (14.8) | - | - | - | 2/8 | 吉備系 |
| 352 | 1区 | SR02 | | 土師器 | 鉢 | 指押え・板ナデ | 磨滅・板ナデ | 10YR8/2 灰白 | 10YR8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | (28.9) | - | - | - | 1/8 | |
| 353 | 1区 | SR02 | 砂層 | 土師器 | 鉢 | 指押え後ナデ・板ナデ | 指押え後ナデ・刷毛後ヘラミガキ | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・多 | - | - | - | - | (21.2) | - | - | - | 1/8 | |
| 354 | 1区 | SR02 | 砂層 | 土師器 | 鉢 | 刷毛後ナデ・ヘラ削り・板ナデ | 磨滅・板ナデ後ナデ | 2.5Y8/3 淡黄 | 2.5Y8/2 灰白 | - | - | - | - | - | (18.0) | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 355 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 土師器 | 鉢 | ナデ・板ナデ・ヘラ削り | ナデ・板ナデ | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 中・少 | - | - | 中・並 | - | (12.0) | - | - | - | 1/8 | |
| 356 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 土師器 | 鉢 | 磨滅・ヘラ削り | 磨滅・ヘラミガキ | 2.5Y8/3 淡黄 | 2.5Y8/3 淡黄 | 中・並 | 中・少 | - | - | - | (17.4) | - | - | - | 2/8 | |
| 357 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 土師器 | 鉢 | 横ナデ・ヘラ削り | 横ナデ・刷毛目 | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | 中・並 | - | - | - | - | (12.4) | - | - | - | 1/8 | |
| 358 | 1区 | SR02 | 砂層 | 土師器 | 鉢 | 板ナデ・ヘラ削り | 板ナデ・指ナデ | 5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/3 淡黄 | 細・多 | 細・少 | - | 細・少 | - | (12.6) | - | - | - | 2/8 | |
| 359 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 土師器 | 鉢 | 指押え後ナデ | 指押え後刷毛目 | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/3 淡黄 | 中・並 | - | - | - | - | 11.0 | 3.6 | - | - | 5/8 | 外：黒斑 |
| 360 | 1区 | SR02 | 砂層・機械掘削 | 土師器 | 高杯 | 板ナデ・指押え | ナデ・指押え後板ナデ | 7.5YR8/2 灰白 | 7.5YR8/4 浅黄橙 | 中・多 | 中・少 | - | - | - | (14.8) | - | - | - | 3/8 | |
| 361 | 1区 | SR02 | 機械掘削 | 須恵器 | 杯 | 回転ナデ | 回転ナデ | N5/ 灰 | N5/ 灰 | - | - | - | - | 中・少 | (12.8) | - | - | - | 2/8 | |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | 法量(cm) | | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | |
| 362 | Ⅷ区 | SR02 | 機械掘削 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾖｺﾅﾃﾞ・回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N5/ 灰 | 7.5Y6/1 灰 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | - | - | 1/8 未満 |
| 363 | Ⅷ区 | SR02 | 機械掘削 | 須恵器 | 壺 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N5/ 灰 | N5/ 灰 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | (7.2) | - | 1/8 |
| 365 | Ⅸ区 | SR03 | 南部最下層 | 弥生土器 | 鉢 | ﾅﾃﾞ | 横ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 10YR5/4 にぶい黄褐 | 7.5YR5/6 明褐 | 細・多 | 細・多 | 細・多 | 細・多 | - | 15.7 | 4.9 | - | - | 8/8 |
| 366 | Ⅸ区 | SR03 | 北部 | 土師器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・指押え・刷毛目 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目・指押え | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 中・多 | - | - | - | - | (14.4) | - | - | - | 1/8 |
| 367 | Ⅸ区 | SR03 | 南部 | 須恵器 | 杯身 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ヘラ削り | 回転ﾅﾃﾞ指押え | N6/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 中・少 | 13.2 | 4.5 | - | - | 5/8 |
| 368 | Ⅷ区 | 包含層 | 上面精査 | 弥生土器 | 甕 | 横ﾅﾃﾞ・磨滅 | 横ﾅﾃﾞ・ヘラ削り | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 細・並 | - | 細・並 | - | - | (11.2) | - | - | 胴部径(15.2) | 1/8 |
| 369 | Ⅷ区 | 包含層 | 北側側溝 | 弥生土器 | 鉢 | 横ﾅﾃﾞ・指ナデ・ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 横ﾅﾃﾞ・刷毛後ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | (18.1) | 5.8 | - | - | 7/8 |
| 370 | Ⅷ区 | 包含層 | 北側側溝 | 弥生土器 | 鉢 | 横ﾅﾃﾞ・ヘラ削り | 横ﾅﾃﾞ・板ナデ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 5YR6/6 橙 | 10YR8/4 浅黄橙 | 中・少 | 中・少 | 細・多 | 中・並 | - | (22.3) | - | - | - | 2/8 |
| 371 | Ⅴb区 | 包含層 | 側溝 | 弥生土器 | 壺 | ヘラ削り・ヘラﾐｶﾞｷ | ﾅﾃﾞ・指ナデ | 10YR7/4 にぶい黄橙 | 10YR7/2 にぶい黄橙 | 中・並 | 細・少 | - | 細・少 | - | (10.7) | 10.3 | 1.4 | 胴部径(13.4) | 3/8 |
| 372 | Ⅳ区 | 包含層 | | 弥生土器 | 高杯 | 刷毛目・竿孔4ヶ所 | 磨滅・板ナデ・指押え | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 中・並 | 中・少 | - | 細・少 | - | - | - | - | - | 6/8 |
| 373 | Ⅸ区 | 包含層 | 東南部側溝 | 土師器 | 壺 | 横ﾅﾃﾞ・凹線文 | 横ﾅﾃﾞ | 5YR8/3 淡橙 | 5YR8/3 淡橙 | 中・多 | 中・多 | - | 細・少 | - | (16.0) | - | - | - | 1/8 |
| 374 | Ⅸ区 | 包含層 | 試掘トレンチ | 土師器 | 壺 | 刷毛目・指押え・指ナデ | 板ナデ・ﾅﾃﾞ・指押え | 10YR6/2 灰黄褐 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 中・少 | 細・少 | - | 細・並 | - | (8.8) | 7.3 | - | - | 3/8 |
| 375 | Ⅷ区 | 包含層 | 北側側溝 | 土師器 | 壺 | 横ﾅﾃﾞ・ヘラﾐｶﾞｷ | 磨滅・刷毛目 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 中・並 | - | - | 細・並 | - | 10.5 | 6.5 | - | - | 5/8 |
| 376 | Ⅸ区 | 包含層 | 東南部側溝 | 土師器 | 甕 | 磨滅・刷毛目 | 磨滅・ヘラ削り後ナデ | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 10YR6/4 にぶい黄橙 | 中・並 | 細・並 | 細・多 | 細・多 | - | (11.0) | 12.8 | - | 胴部径(12.2) | 5/8 |
| 377 | Ⅷ区 | 包含層 | 北側側溝 | 土師器 | 鉢 | 横ﾅﾃﾞ・刷毛目 | 刷毛目・板ナデ | 5YR8/4 淡橙 | 5YR8/4 淡橙 | 細・並 | 細・多 | - | - | - | (17.8) | - | - | - | 1/8 |
| 378 | Ⅷ区 | 包含層 | 北側側溝 | 土師器 | 鉢 | 横ﾅﾃﾞ・磨滅・ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 横ﾅﾃﾞ・磨滅・ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・並 | - | - | - | - | (16.3) | - | - | - | 3/8 |
| 379 | Ⅷ区 | 包含層 | 北側側溝 | 土師器 | 鉢 | 明き目・亀裂痕 | 磨滅・刷毛目 | 2.5Y7/4 浅黄 | 2.5Y6/3 にぶい黄 | 中・並 | - | - | - | - | 15.4 | 6.1 | - | - | 5/8 | 外：黒斑 |
| 380 | Ⅷ区 | 包含層 | 北側側溝 | 土師器 | 鉢 | 横ﾅﾃﾞ・板ナデ・ﾍﾗ削り | 横ﾅﾃﾞ・板ナデ | 10YR8/2 灰白 | 10YR7/1 灰白 | 中・並 | 細・少 | - | - | - | 11.6 | 4.5 | - | - | 6/8 |
| 381 | Ⅷ区 | 包含層 | 北側側溝 | 土師器 | ﾐﾆﾁｭｱ鉢 | 指押え・ﾅﾃﾞ | 指ナデ | N4/ 灰 | 2.5Y8/2 灰白 | 中・多 | - | - | - | - | - | - | (3.9) | - | 3/8 |
| 382 | Ⅷ区 | 包含層 | 北側側溝 | 土師器 | 高杯 | 磨滅・指押え・ﾅﾃﾞ | 磨滅・絞り目・ﾅﾃﾞ・板ﾅﾃﾞ | 5YR6/6 橙 | 5YR6/6 橙 | 細・多 | 細・多 | - | 細・多 | - | (17.0) | 13.4 | 13.0 | - | 1/8 |
| 383 | Ⅷ区 | 包含層 | 上面精査 | 土師器 | 椀 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ヘラ切り後回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ・回転ヘラ切り後回転ﾅﾃﾞ | 2.5Y7/2 灰黄 | 2.5Y7/2 灰黄 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | 6.0 | - | 8/8 |
| 384 | Ⅷ区 | 包含層 | 南側第2側溝 | 土師器 | 椀 | 回転ﾅﾃﾞ | ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 5Y7/1 灰白 | 5Y7/1 灰白 | - | - | - | - | 無 | - | - | (5.7) | - | 1/8 |
| 385 | Ⅷ区 | 包含層 | 南側第2側溝 | 土師器 | 皿 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ヘラ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 2.5Y7/3 浅黄 | 2.5Y7/3 浅黄 | - | - | - | - | 細・少 | (8.3) | 1.2 | (5.7) | - | 2/8 |
| 386 | Ⅷ区 | 包含層 | 西側側溝・北トレンチ | 土師器 | 杯 | 回転ヘラ切り後回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 2.5Y8/2 灰白 | 2.5Y8/2 灰白 | - | - | - | - | 無 | - | - | (8.5) | - | 3/8 |
| 387 | Ⅷ区 | 包含層 | 上面精査・側溝 | 土師器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・磨滅 | 磨滅 | 7.5YR6/6 浅黄橙 | 7.5YR8/6 浅黄橙 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | - | - | 3/8 |

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 種類 | 器種 | 文様・調整 | | 色調 | | 胎土 | | | | | 法量 (cm) | | | 残存率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | 外面 | 内面 | 石英・長石 | 赤色粒 | 角閃石 | 雲母 | 砂粒 | 口径 | 器高 | 底径 | その他 | |
| 388 | Ⅶ区 | 包含層 | 上面精査 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 5Y8/1 灰白 | 5Y8/1 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | (5.6) | - | 2/8 | |
| 389 | Ⅶ区 | 包含層 | 上面精査 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | N6/ 灰 | N6/ 灰 | - | - | - | - | 無 | - | - | (7.6) | - | 2/8 | 火襷 |
| 390 | Ⅶ区 | 包含層 | 北側・東側溝精査 | 須恵器 | 杯 | 回転ﾅﾃﾞ・回転ﾍﾗ切り | 回転ﾅﾃﾞ | 7.5Y6/1 灰 | 7.5Y6/1 灰 | - | - | - | - | 無 | - | - | (6.6) | - | 2/8 | 火襷 |
| 391 | Ⅶ区 | 包含層 | 上面精査 | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃ | 5Y5/1 灰 | 2.5Y5/2 暗 灰黄 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 392 | Ⅶ区 | 包含層 | 上面精査 | 須恵器 | 蓋 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | 7.5Y7/1 灰白 | 7.5Y7/1 灰白 | - | - | - | - | 細・少 | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 393 | Ⅶ区 | 包含層 | 南側第2側溝 | 須恵器 | 椀 | 回転ﾅﾃﾞ | ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 2.5Y7/1 灰白 | 2.5Y7/1 灰白 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | (6.0) | - | 3/8 | |
| 394 | Ⅶ区 | 包含層 | 南側第2側溝 | 須恵器 | 甕 | 回転ﾅﾃﾞ | 回転ﾅﾃﾞ | N5/ 灰 | N5/ 灰 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 395 | Ⅶ区 | 包含層 | 南側第2側溝 | 瓦器 | 椀 | 回転ﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 回転ﾅﾃﾞ後ﾍﾗﾐｶﾞｷ | N5/ 灰 | N5/ 灰 | - | - | - | - | 中・少 | - | - | - | - | 1/8 未満 | |
| 396 | Ⅶ区 | 包含層 | 南側第2側溝 | 黒色土器A | 椀 | 回転ﾅﾃﾞ・板目圧痕後ﾅﾃﾞ | ﾍﾗﾐｶﾞｷ | 5YR7/4 にぶい橙 | 10YR6/2 灰黄褐 | - | - | - | - | 無 | - | - | (6.8) | - | 3/8 | A 類 |
| 397 | Ⅶ区 | 包含層 | 機械掘削 | 瓦 | 丸瓦 | (凸面) 板ﾅﾃﾞ | (凹面) 布目 | (凸面) 2.5Y8/1 灰白 | (凹面) 2.5Y7/3 浅黄 | | | | | 灰色砂粒・細・少 | - | - | - | 厚さ 1.8 | 破片 | |

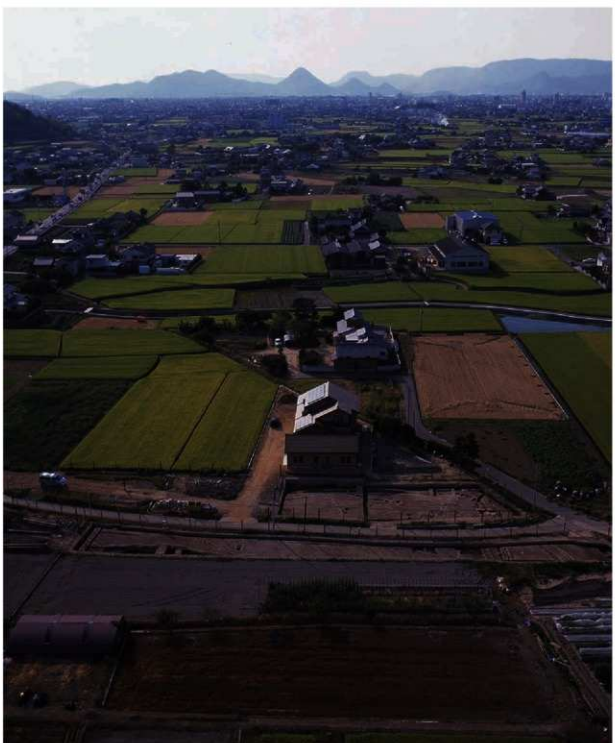
**第４表　三谷中原遺跡出土木器観察表**

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 樹種 | 器種 | 法量 (cm) | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 長さ | 幅 | 厚さ |
| 10 | Ⅶ区 | SK08 | ②最下層 | クリ | 杭 | 41.5 | 6.6 | 6 |
| 239 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | 針葉樹 | 斎串 | 22.6 | 2.1 | 0.2 |
| 240 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | モミ属 | 斎串 | 9.9 | 1.8 | 0.4 |
| 241 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | ヒノキ | ﾍﾗ状木製品 | 22.8 | 1.8 | 0.9 |
| 242 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | アスナロ | 板状木製品 | 7.8 | 1.1 | 0.8 |
| 243 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | ヒノキ | 板状木製品 | 11.7 | 2.2 | 0.7 |
| 244 | Ⅶ区 | SR01 | 下層 | コウヤマキ | 板状木製品 | 11 | 1.7 | 0.3 |

**第５表　三谷中原遺跡出土石器観察表**

| 報告番号 | 地区名 | 遺構名 | 層位等 | 材質 | 器種 | 色調 | 法量 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 厚さ (cm) | 重量 (g) |
| 6 | Ⅲ区 | SK01 | 南半掘り下げ | サヌカイト | 石鏃 | N5/ 灰 | 2.1 | 1.4 | 0.4 | 0.82 |
| 68 | Ⅲ区 | SD05 SD06 | 南部 | サヌカイト | 石鏃 | 7.5Y5/1 灰 | 2.0 | 2.6 | 0.4 | 1.45 |
| 69 | Ⅲ区 | SD06 | 北部北畦以南 | サヌカイト | 石鏃 | 7.5Y6/1 灰 | 1.9 | 1.6 | 0.3 | 0.65 |
| 93 | Ⅳ区 | SD01 | ②　上層 | サヌカイト | 楔状石核 | N6/ 灰 | 4.4 | 2.5 | 0.9 | 10.34 |
| 101 | Ⅳ区 | SD02 | | サヌカイト | 石鏃 | N5/ 灰 | 2.1 | 1.5 | 0.3 | 0.56 |
| 364 | Ⅶ区 | SR02 | 砂層 (最下層) | サヌカイト | スクレイパー | N5/ 灰 | 4.6 | 4.3 | 0.8 | 13.99 |
| 398 | Ⅶ区 | | 南部上面精査 | サヌカイト | スクレイパー | N5/ 灰 | 5.0 | 2.9 | 0.8 | 16.39 |

# 写真図版

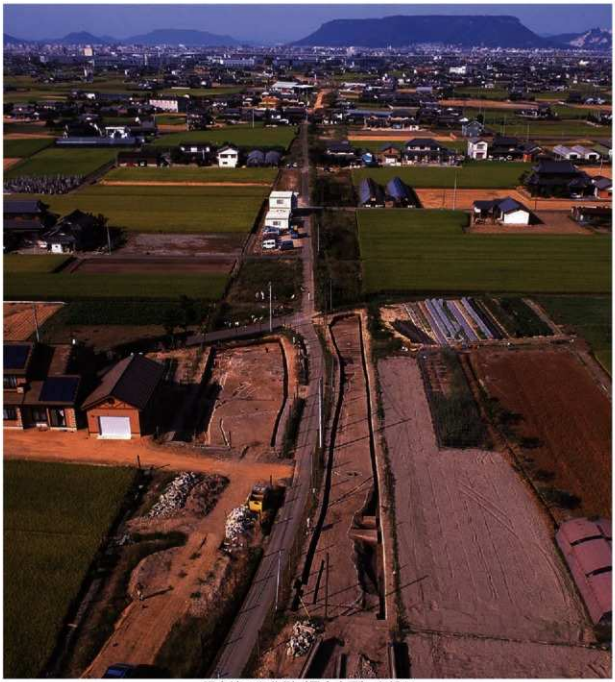


調査地から西側（古代南海道推定線付近から六ツ目山方面）を望む

図版２　三谷中原遺跡

調査地から東側（古代南海道推定線付近から川島方面）を望む

Ⅲ区・Ⅸ区空中写真（左が北）



調査地から北側（屋島方面）を望む

Ⅰ区全景（北より）

Ⅰ区西側拡張区全景（北より）

図版 4　三谷中原遺跡

Ⅰa区 SD01 ②断面（南より）

Ⅰa区 SD01 ③断面（南より）

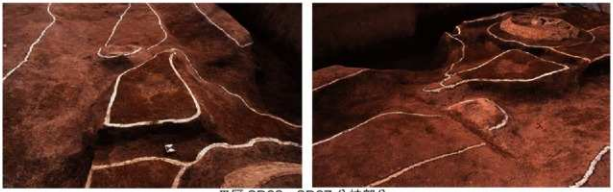
Ⅰ区 SD01SD06（南より）

Ⅰ区全景（北より）

Ⅰ区畦下 SD01（北より）

Ⅰ区西壁（東より）

Ⅲ区 SD05・06 最北畦（南より）



Ⅲ区 SD08・SD07 分岐部分

Ⅲ区 SD07 西畦（西より）

図版 6　三谷中原遺跡

Ⅲ区 SD11（南より）

Ⅲ区 SX04（西より）

Ⅲ区 SX04 東壁断面（西より）

Ⅲ区 SX05 東壁断面（西より）

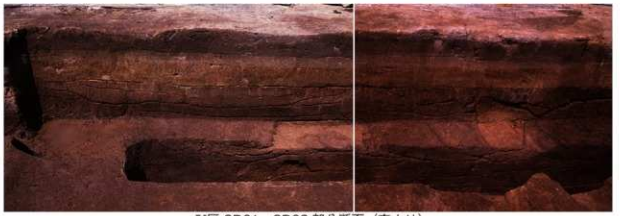
Ⅲ区西側拡張（北より）

Ⅲ区　全景（北より）

Ⅳ区　全景（南より）

図版 8　三谷中原遺跡

Ⅳ区 SD01 完掘（北より）



Ⅳ区 SD01・SD02 部分断面（南より）

Ⅳ区 SD02 断面及び SD01 中層黒色土器（82）出土状況（北より）

V区完掘（北より）

V区 SD02 完掘（北より）

図版 10　三谷中原遺跡

Ⅴa区 SD01・SD02 断面（北より）

Ⅴ区完掘（南より）

Ⅶ区 SH01 床面遺物出土状況（西より）

Ⅶ区 SH01・SD02（西より）

Ⅶ区 SK02（南より）

Ⅶ区 SK02（東より）

Ⅶ区 SR02（南より）

Ⅶ区南拡張 SR01 検出状況（北より）

Ⅶ区南拡張 SR01（北より）

図版 12　三谷中原遺跡

Ⅷ区全景（北より）

Ⅷ区全景（北より）

Ⅷ区 SR01（北より）

Ⅷ区南壁（北より）

Ⅷ区 SR02 遺物出土状況

図版 14　三谷中原遺跡

Ⅸ区 SD12（西より）

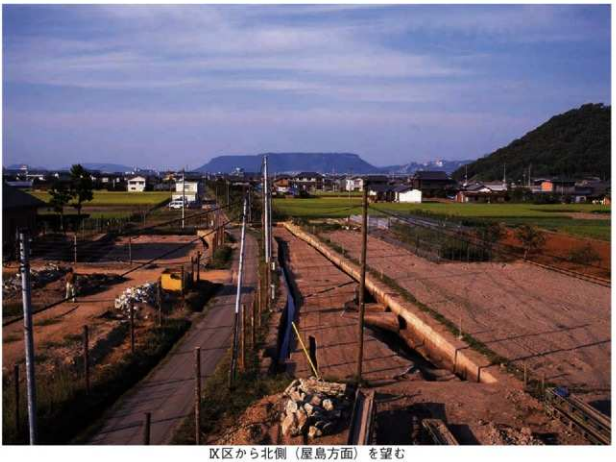
Ⅸ区 SD12 断面（東より）

Ⅸ区 SD12 調査区北壁（南より）

Ⅸ区 SD17（北より）

Ⅸ区 SD21（南より）

Ⅸ区 SR03 断面（西より）



Ⅸ区から北側（屋島方面）を望む

図版 16　三谷中原遺跡

11

12

15

16

14

20

21

30

35

遺物写真（Ⅶ区 SK02）

39

40

41

42

45

49

54

50

52

53

93　68
398　69
364　6
101

遺物写真（Ⅶ区 SK02、Ⅲ区 SK01・SD05・SD06、Ⅵ区 SD01・SD02、Ⅷ区 SR02、包含層）

55

56

57

59

60

61

64

66

71　72
70　73

79　78
77　76

遺物写真（Ⅰa区 SD01、Ⅰb区 SD01、Ⅲ区 SD05・SD06・SD07、
Ⅳ区 SD01・SD04、Ⅴa区 SD01）

80

82

90 84
83 89 88
85 87

115 116
114

94 100
99 98
96 97
95

111 112
109 110
113

128

129

126

119 117
125 120
121 122

遺物写真（Ⅲ区 SX04、Ⅳ区 SD01・SD02・SD05・SD06、Ⅴa区 SD01・SD02、
Ⅷ区 SD01・SD02・西拡張区 SD02、Ⅸ区 SD12・西拡張区 SD12）

図版 20　三谷中原遺跡

遺物写真（Ⅵ区 SR01）

160
161
162
164
168
169
170
171
177
182 181
197
201
204
205
208
212
213

遺物写真（Ⅶ区 SR01）

図版 22　三谷中原遺跡

222 220
215 217 219
216 221 218

225

228
226 227

229
230

232
231

235
233 234

236
237

243

241

242

239

244

240

10

遺物写真（Ⅶ区 SR01、Ⅵ区 SK08）

245

250

251

252

254

263

253

264

267

270

272

269

273

274

遺物写真（Ⅶ区 SR01）

図版 24　三谷中原遺跡

282

278

276

277

291

279

290

300

295

302

293

296

310

320

遺物写真（Ⅶ区 SR01・SR02）

遺物写真（Ⅶ区 SR02・包含層、Ⅸ区 SR03・包含層、Ⅴb 区包含層）

# 報告書抄録

| | |
|---|---|
| ふりがな | みたになかはらいせき |
| 書名 | 三谷中原遺跡 |
| 副書名 | 県道中徳三谷高松線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 |
| 巻次 | 第２冊 |
| 編著者名 | 森下英治（編）、株式会社イビソク |
| 編集機関 | 香川県埋蔵文化財センター |
| 所在地 | 〒762-0024　香川県坂出市府中町字南谷 5001-4<br>℡．0877-48-2191　Mail．maibun@pref.kagawa.lg.jp |
| 発行機関名 | 香川県教育委員会 |
| 発行年月日 | 2019 年 3 月 15 日 |

| 所収遺跡名（ふりがな） | 所在地（ふりがな） | コード 市町 | コード 遺跡番号 | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積㎡ | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 三谷中原遺跡（みたになかはら いせき） | 香川県高松市三谷町（かがわけんたかまつし みたにちょう） | 37201 | | 34°16′45″ | 134°04′24″ | 2001 年 6 月 1 日～2002 年 10 月 31 日 | 4,584㎡ | 道路改修 |

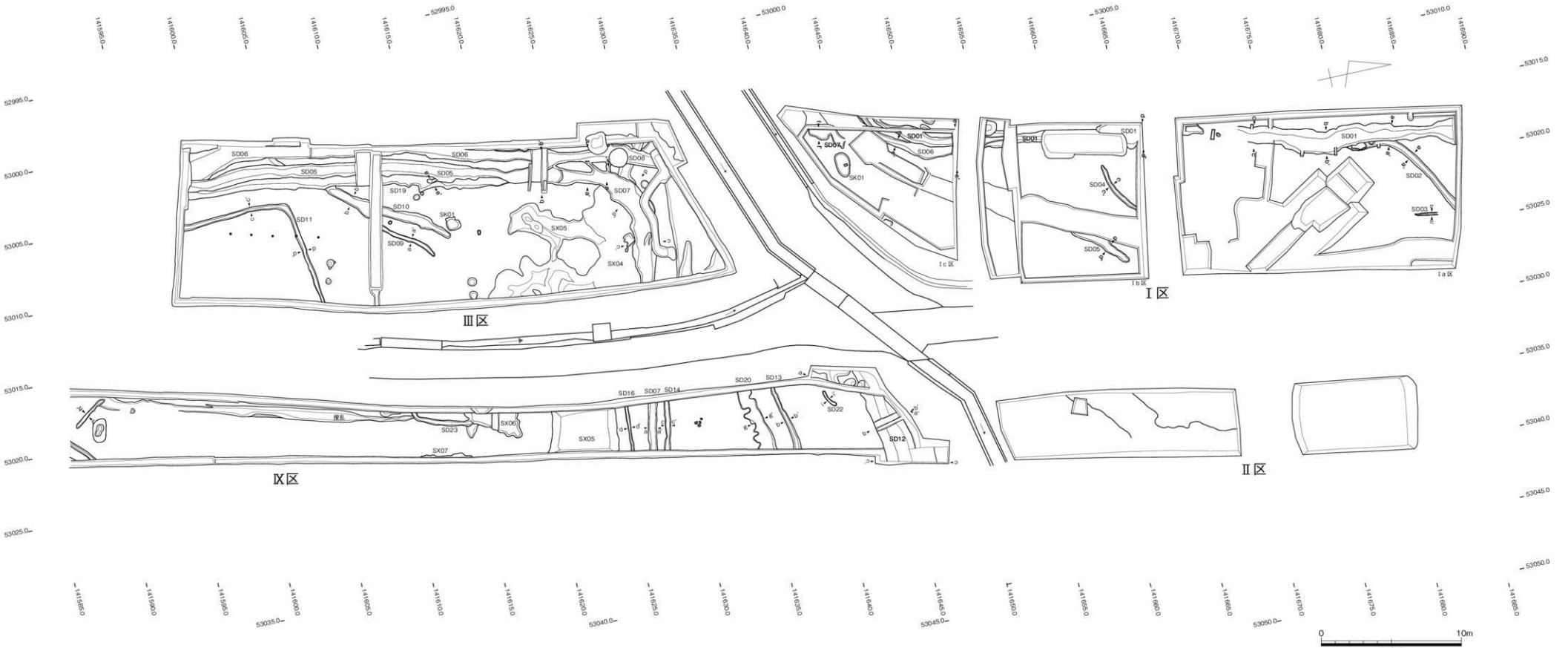
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 三谷中原遺跡 | 集落跡<br>条里跡 | 弥生時代<br>古墳時代 | 自然河川　1<br>竪穴建物　1<br>土坑　1<br>不明遺構　2 | 弥生土器、土師器、須恵器、石器、木製品 | |
| | | 古代 | 自然河川　1<br>溝　15 | 土師器、須恵器、黒色土器 | 条里坪界及び古代南海道推定線にあたる |
| | | 中世 | 溝　1 | 土師質土器 | |

**要約**

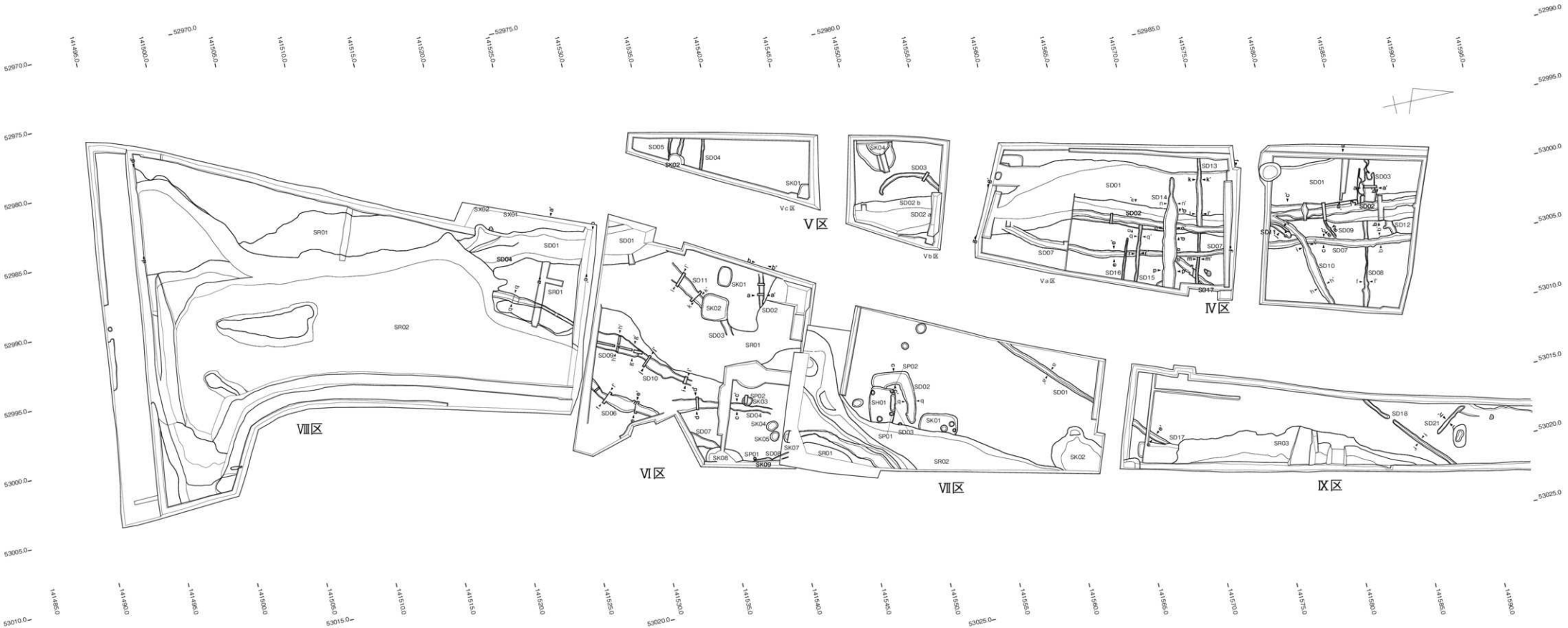
三谷中原遺跡は、高松平野南部の扇状地南縁に立地する。調査地内には歴史地理学の成果によって規定された古代南海道推定線が横断する。調査の結果、南から北東に流下する 8 世紀以前の自然河川と、条里坪境に沿って北へ流下する 8 世紀から 11 世紀の直線溝が検出された。古代南海道推定線箇所では幅 13m の間隔をおいて東西方向に 2 条の溝が確認できる。周辺の条里型地割の分析から、その 13 m の間隔は条里余剰帯と推定できた。また県内の道路遺構と比較した結果、歴史地理学で古代南海道推定線における発掘調査では道路とは即断できないものの幅 9 m 程度で道路が敷設されたとみられる遺構が多く確認できていることから、当該遺跡においても道路としての直接的な根拠はないものの、古代南海道と推定して矛盾がない状況であった。

県道中徳三谷高松線建設事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告
第２冊
三谷中原遺跡

2019年３月15日
編集　香川県埋蔵文化財センター
〒762-0024　香川県坂出市府中町字南谷5001-4
Tel　0877-48-2191　Fax　0877-48-3249
発行　香川県教育委員会
印刷　（株）美巧社




三谷中原遺跡全体図（北半）（1/200）




三谷中原遺跡全体図（南半）（1/200）